

41 P 午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成18年3月5日 9時20分～12時10分)

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間50分である。
 2. 解答方法は次のとおりである。
- (1) 各問題には1から5までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例1)では一つ、(例2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) **101** 県庁所在地は
どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例2) **102** 県庁所在地はどれか。
2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の

101 ① ② ③ ④ ⑤ のうち ③ をマークして

101 ① ② ● ④ ⑤ とすればよい。

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の

102 ① ② ③ ④ ⑤ のうち ① と ③ をマークして

102 ● ② ● ④ ⑤ とすればよい。

- (2) 答案の作成には **HB** の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……○ (解答したことにならない。)

- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。
鉛筆の色が残ったり「~~●~~」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- (4) ア. (例1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。
イ. (例2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間50分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から5までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例1)では一つ、(例2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 県庁所在地は
どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例2) 102 県庁所在地はどれか。
2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市
5. 別府市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の

問題 番号	答
101	

の「答」の欄に

問題 番号	答
101	3

と記入すればよい。

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の

問題 番号	答
102	

の「答」の欄に

問題 番号	答
102	1 3

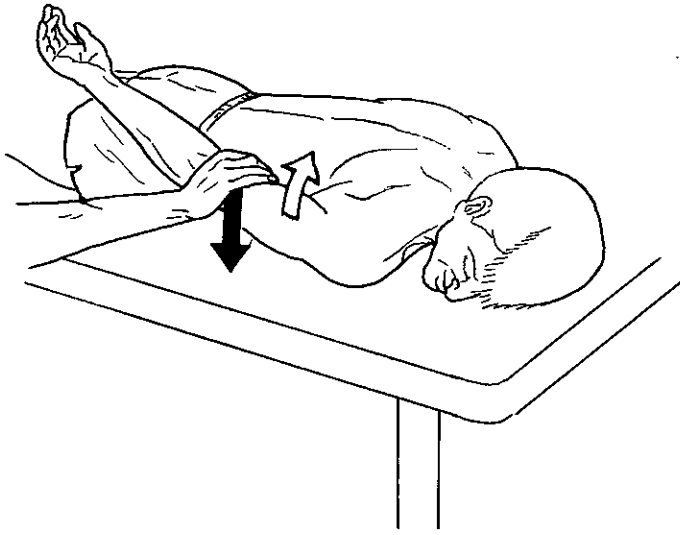
と記入すればよい。

答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことにならないので注意すること。

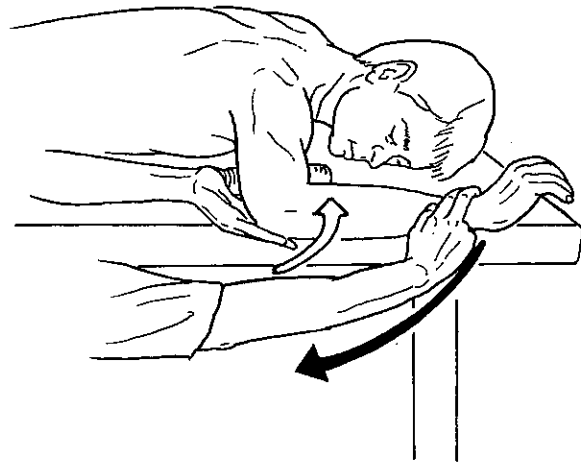
- (2) ア. (例1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。
イ. (例2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎指示があるまで開かないこと。

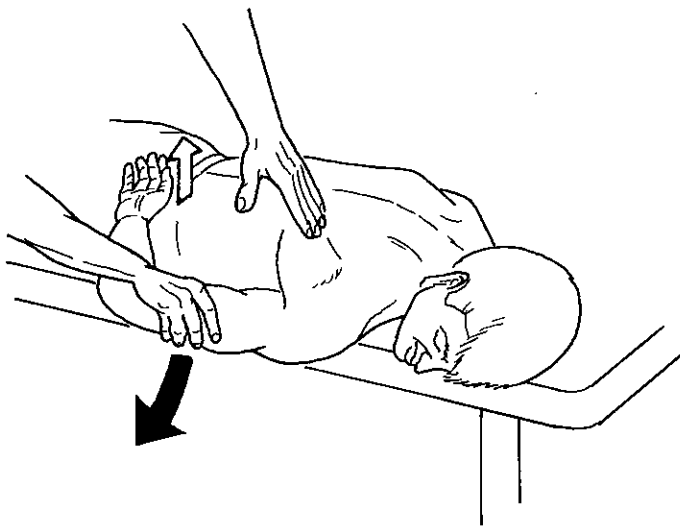
問題 1 ダニエルスらの徒手筋力テスト(筋力 5 :Normal)で誤っているのはどれか。



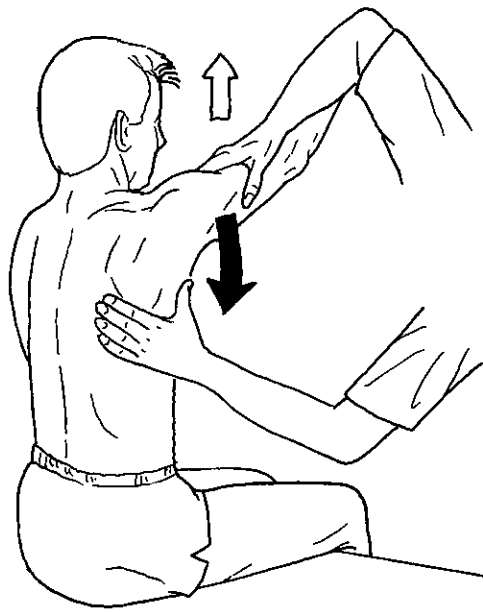
ア. 小円筋



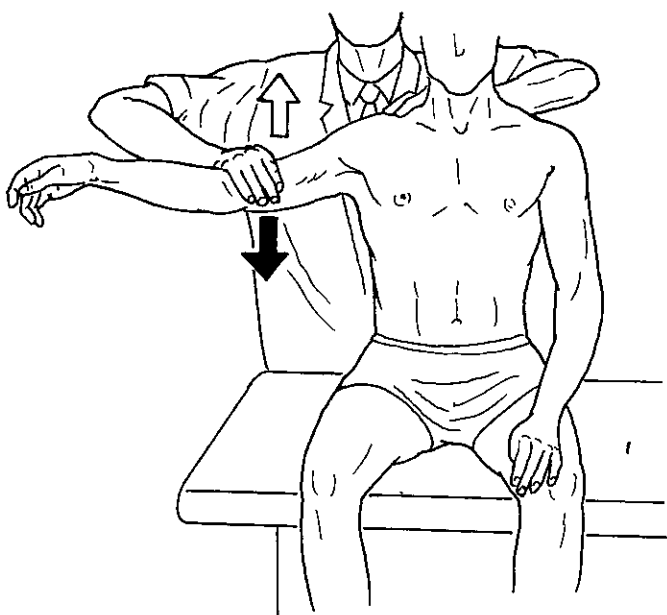
イ. 肩甲下筋



ウ. 菱形筋



エ. 前鋸筋



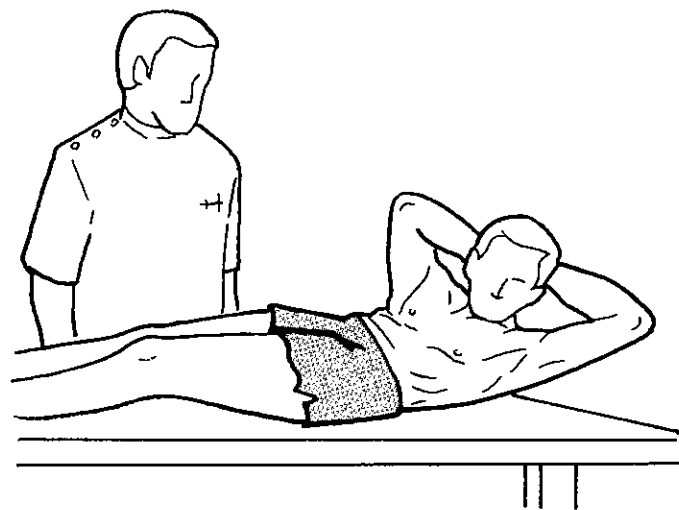
オ. 棘上筋

⇐ は被検者の力の方向
 ← は検査者の力の方向

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

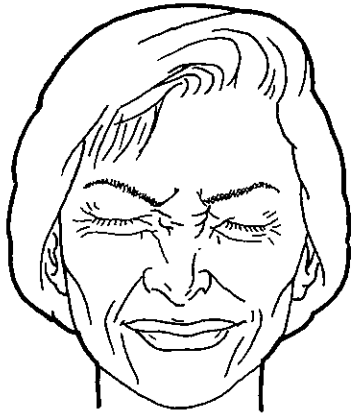
問題 2 ダニエルスらの徒手筋力テストを図に示す。

筋と筋力段階との組合せで正しいのはどれか。



1. 左外腹斜筋、右内腹斜筋——筋力 5 (Normal)
2. 右外腹斜筋、左内腹斜筋——筋力 5 (Normal)
3. 左外腹斜筋、右内腹斜筋——筋力 4 (Good)
4. 右外腹斜筋、左内腹斜筋——筋力 4 (Good)
5. 左外腹斜筋、左内腹斜筋——筋力 4 (Good)

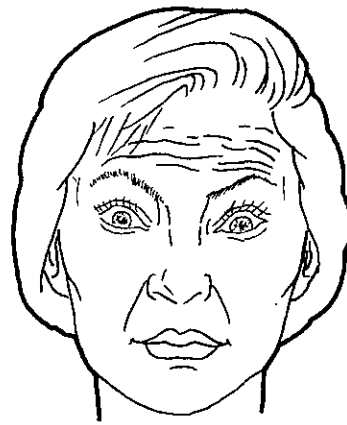
問題 3 ダニエルスらの顔面の筋力テストで誤っているのはどれか。



1. 眼輪筋



2. 皺眉筋



3. 前頭筋

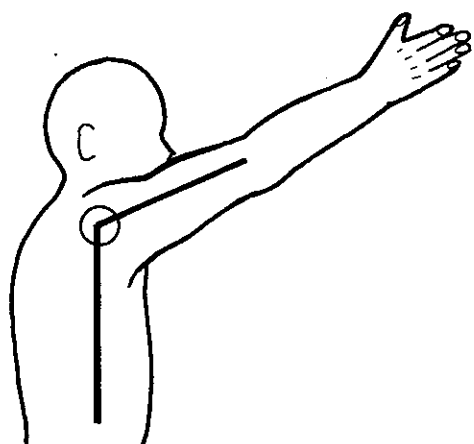


4. 口角挙筋

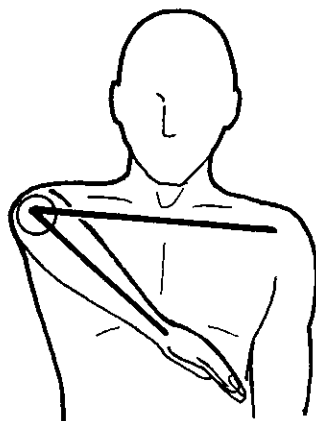


5. 頬筋

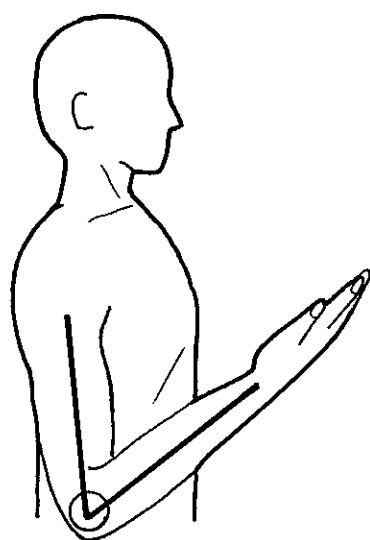
問題 4 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)
で正しいのはどれか。2つ選べ。



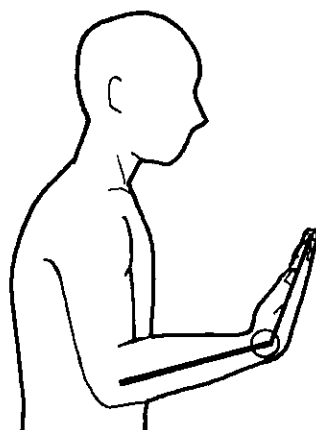
1. 肩関節屈曲



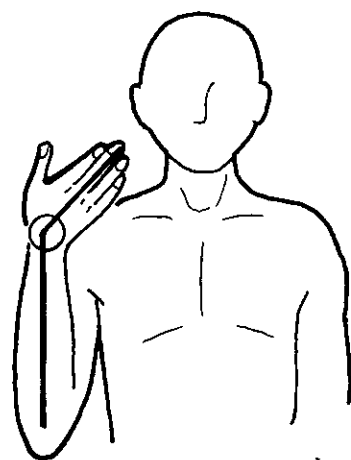
2. 肩関節内旋



3. 肘関節屈曲



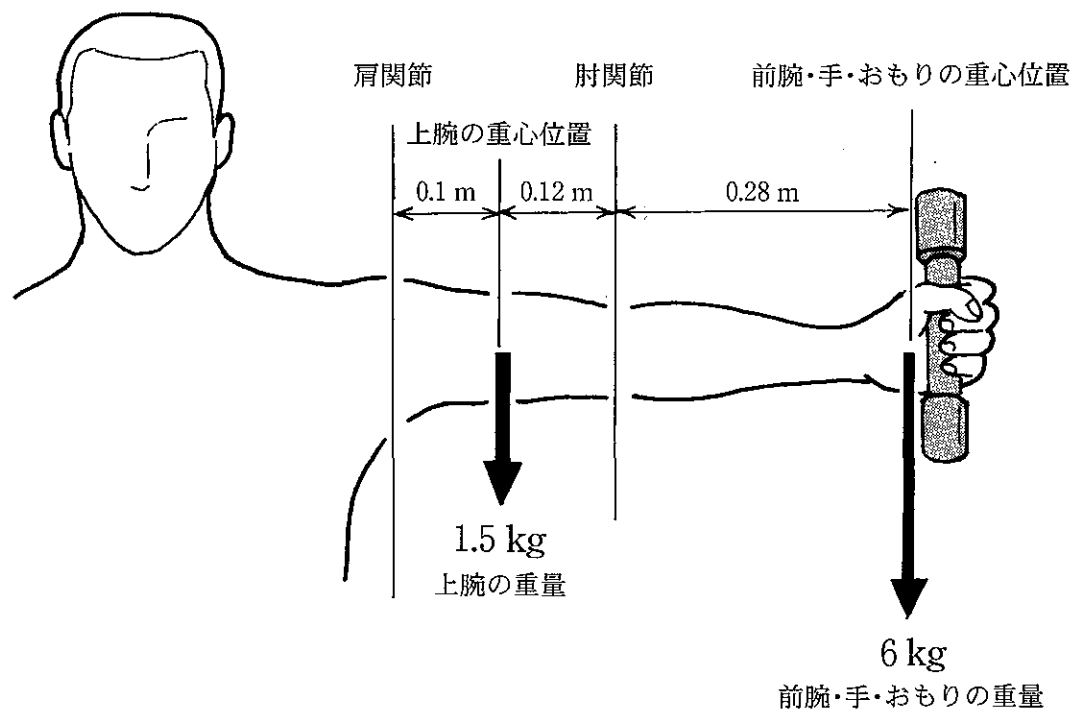
4. 手関節屈曲



5. 手関節尺屈

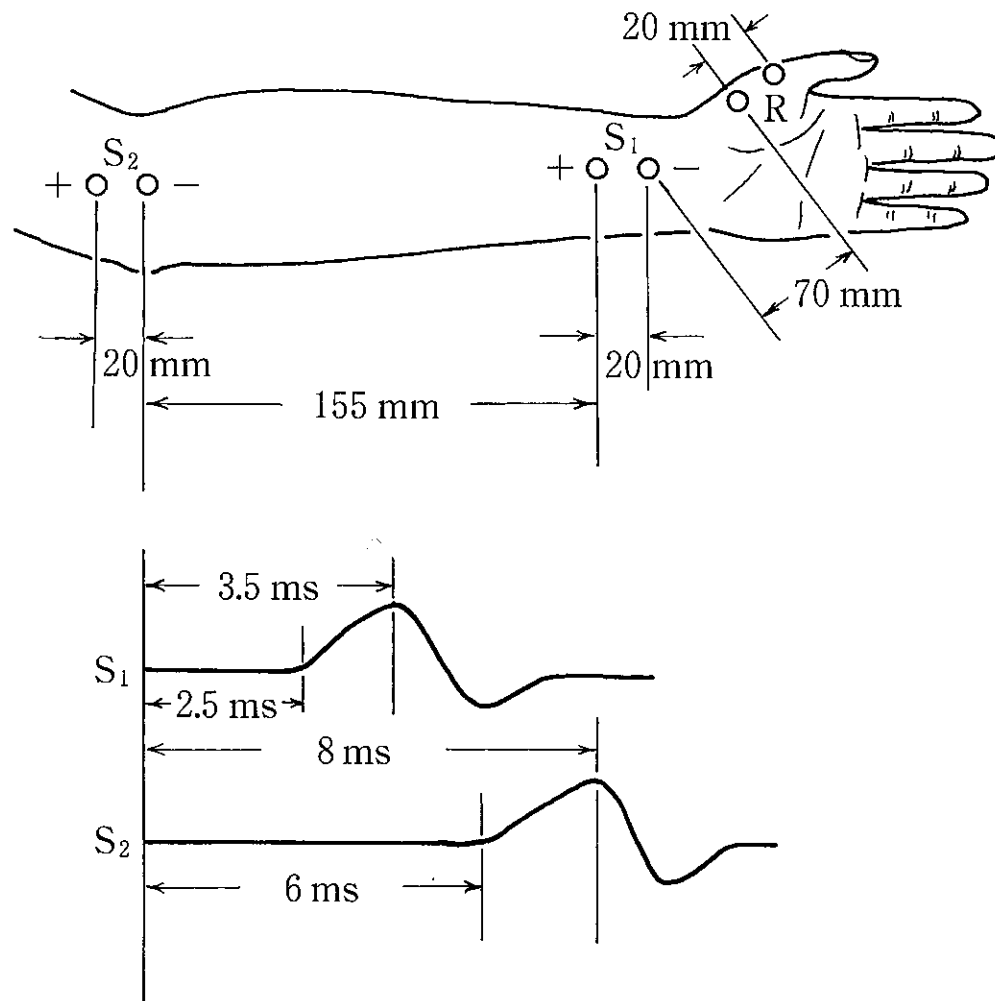
問題 5 図は立位で 5 kg のダンベルを持ち水平位に保持している。

肩関節外転筋群が作り出している反時計回りの力のモーメントで正しいのはどれか。(1 kg 重 = 10 N とする)



1. 16.8 Nm
2. 18.3 Nm
3. 30.0 Nm
4. 31.5 Nm
5. 75.0 Nm

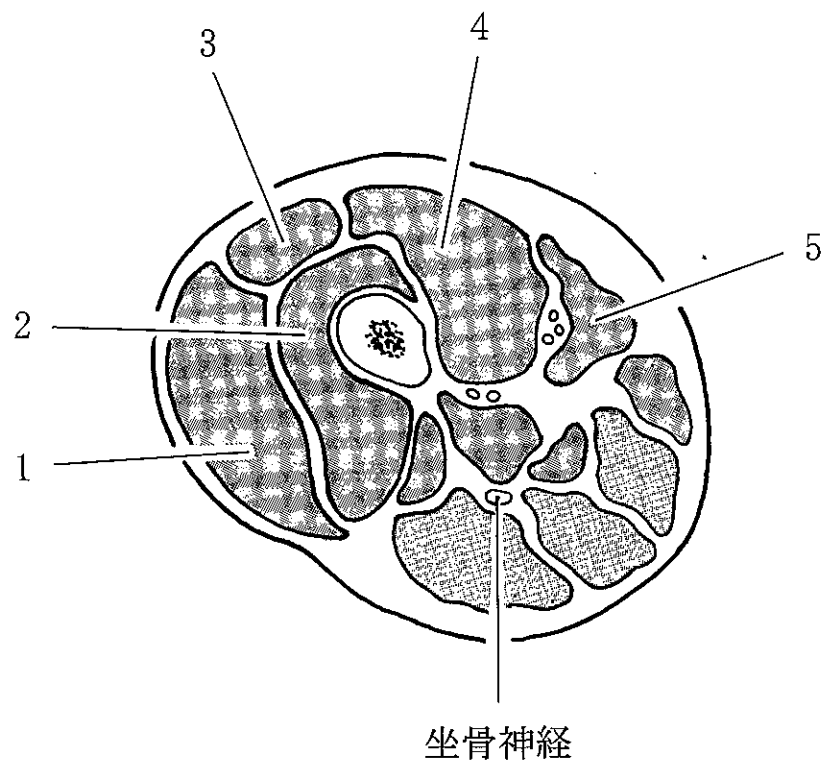
問題 6 図の正中神経における運動神経伝導速度はどれか。



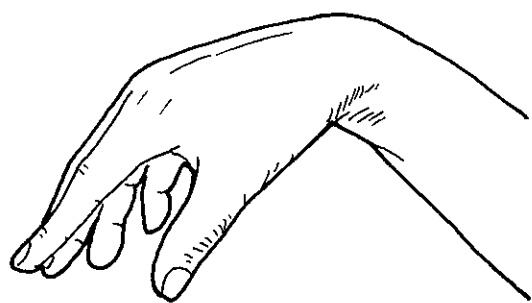
1. 56 m/秒
2. 50 m/秒
3. 44 m/秒
4. 39 m/秒
5. 34 m/秒

問題 7 図は左大腿中央部の横断面図である(上から見た図)。

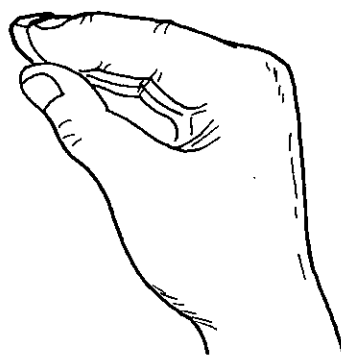
縫工筋はどれか。



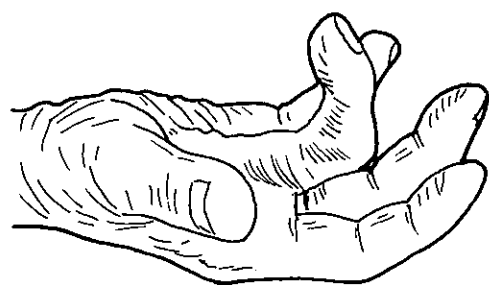
問題 8 手指の変形や拘縮で誤っているのはどれか。



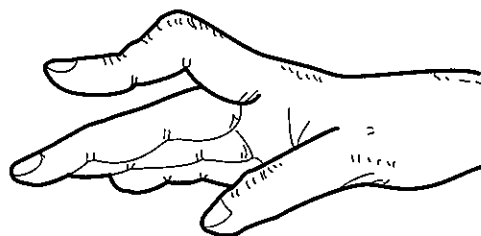
1. フォルクマン拘縮



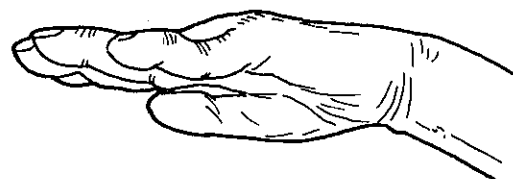
2. 内在筋プラス肢位



3. デュピイトラン拘縮

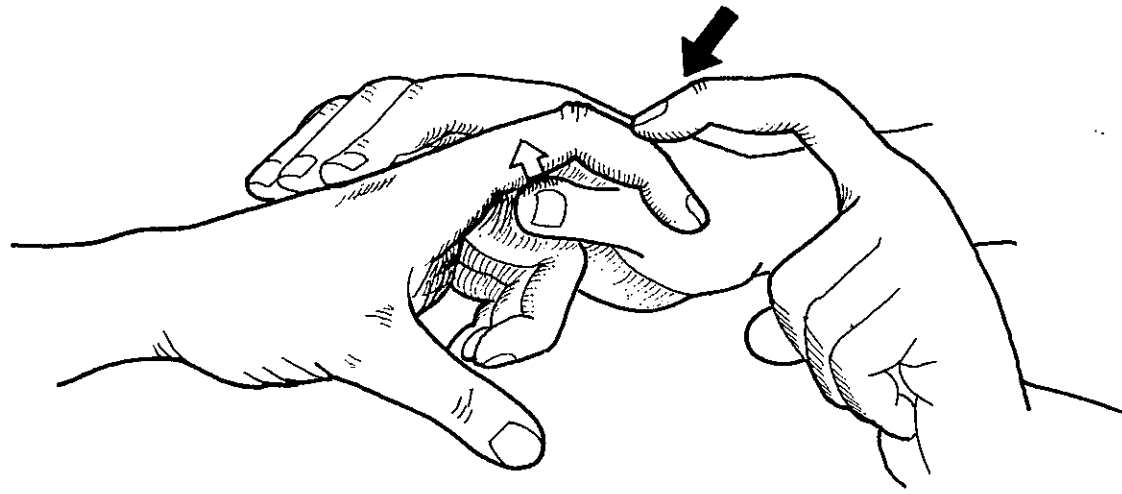


4. ボタン穴変形



5. スワンネック変形

問題 9 図はどの筋の短縮をみているか。2つ選べ。



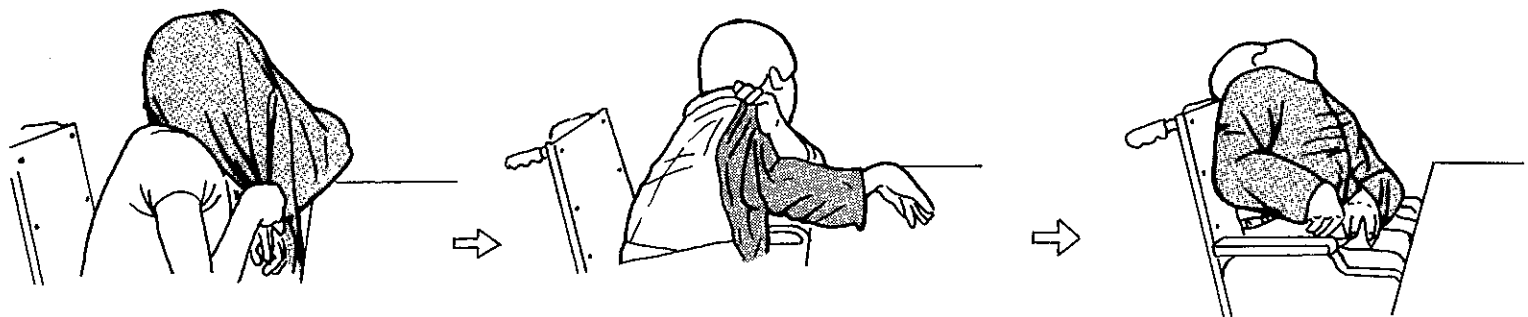
⇐ の方向に保持し

⇓ の方向に力を加える

1. 指伸筋
2. 示指伸筋
3. 虫様筋
4. 背側骨間筋
5. 浅指屈筋

問題10 図は筋ジストロフィー症のかぶりシャツ着衣動作である。

この動作を可能にしている運動で適切でないのはどれか。

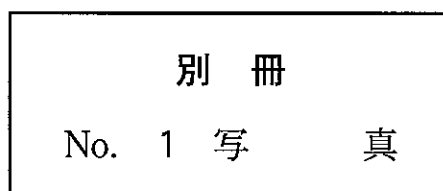


1. 頸部伸展
2. 体幹側屈
3. 肩関節屈曲
4. 肘関節屈曲
5. 手指屈曲

問題11 頸髄損傷患者に紙を押さえるように指示したところの写真(別冊No. 1)を別に示す。

この代償動作の原因となった麻痺筋はどれか。

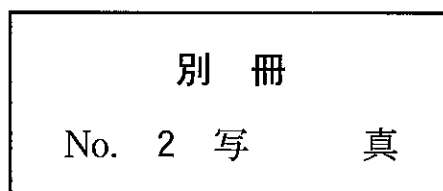
1. 三角筋前部
2. 広背筋
3. 大胸筋
4. 上腕三頭筋
5. 橈側手根伸筋



問題12 脳出血時の頭部 CT(別冊No. 2)を別に示す。

誤っているのはどれか。

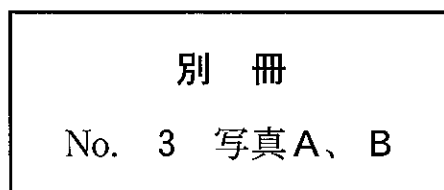
1. くも膜下出血
2. 尾状核出血
3. 小脳出血
4. 脳幹出血
5. 被殻出血



問題13 14歳の女子。痙直型四肢麻痺によって座位保持ができず座位保持装置を使用している。最近側弯が増強したため外来を受診した。脊椎エックス線単純正面像(別冊No. 3A)と骨盤エックス線単純正面像(別冊No. 3B)とを別に示す。

座位姿勢を改善させる方法で適切でないのはどれか。

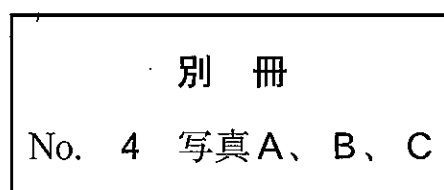
1. 軟性コルセットを使用する。
2. 右側臥位での体幹ストレッチを強化する。
3. ヘッドレストを付けて頭部を保持する。
4. 座面に傾斜をつけ左坐骨を挙上させる。
5. 座位保持装置に右体幹パッドを加える。



問題14 62歳の女性。転倒後、四肢麻痺が出現した。上肢の筋力は2、手指内在筋は0～1、下肢は4であった。受傷時の頸部CT(別冊No. 4A、B)と頸部MRI(別冊No. 4C)とを別に示す。

画像から得られる所見で正しいのはどれか。

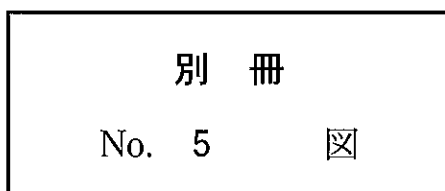
- ア. CTで第3～5頸椎間に後縦靱帯骨化がみられる。
イ. CTで第4・5頸椎部に骨折がみられる。
ウ. CTで第5・6頸椎間に脱臼がみられる。
エ. MRIで脊髄の圧迫はみられない。
オ. MRIで第5頸椎後方の脊髄に高輝度の変化がある。
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ



問題15 心電図と病態との組合せ(別冊No. 5)を別に示す。

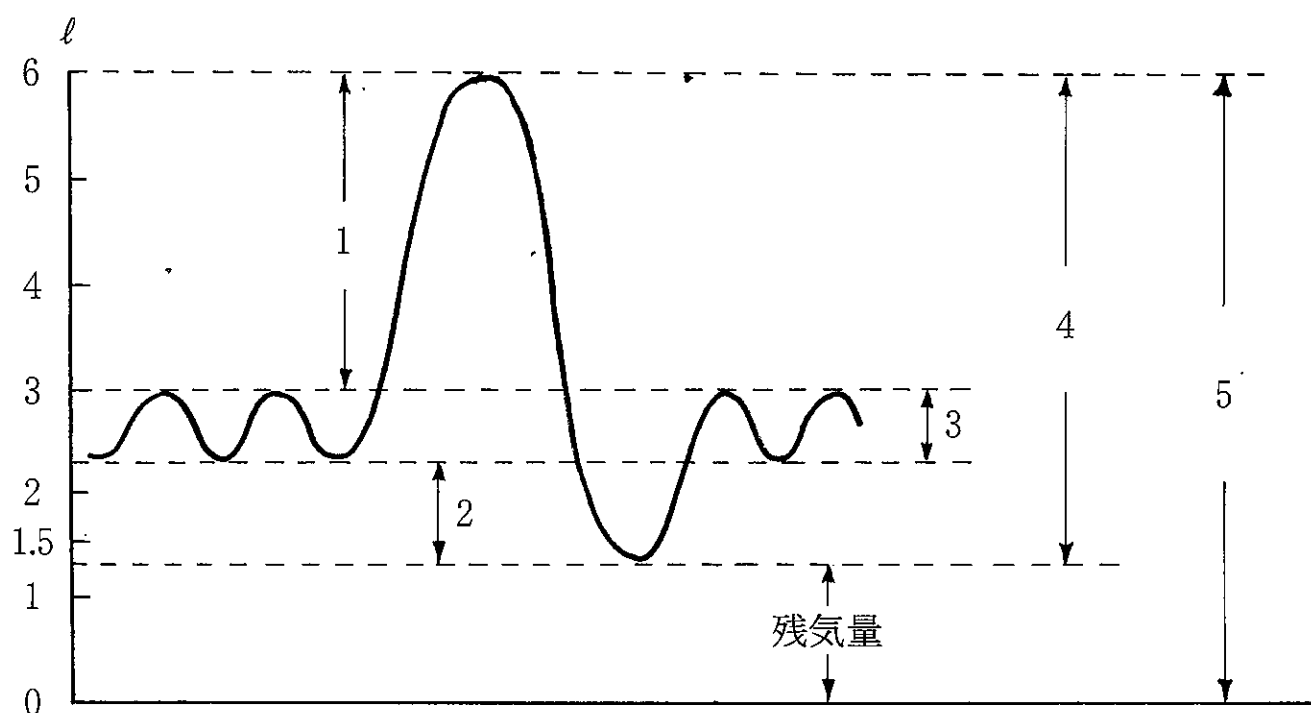
誤っているのはどれか。

1. 洞性徐脈
2. 上室性期外収縮
3. 心室性期外収縮
4. I度房室ブロック
5. 心室細動



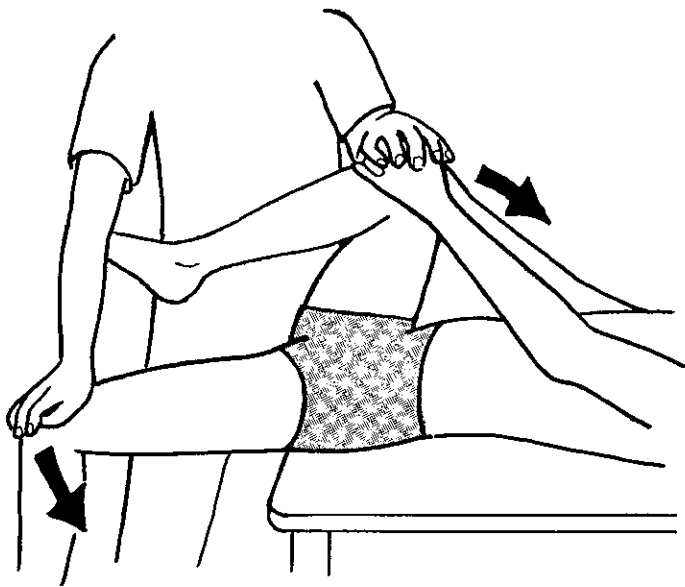
問題16 図はスパイロメータで計測した呼吸量である。

誤っているのはどれか。

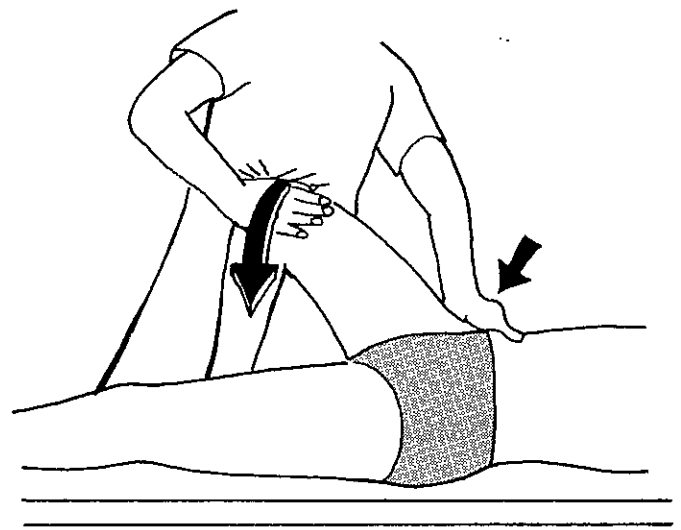


1. 予備吸気量
2. 機能的残気量
3. 1回換気量
4. 肺活量
5. 総肺気量

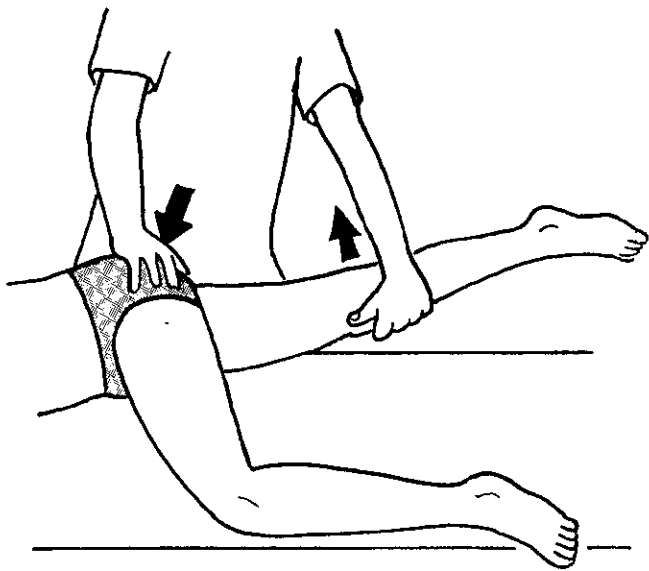
問題17 伸張法で誤っているのはどれか。



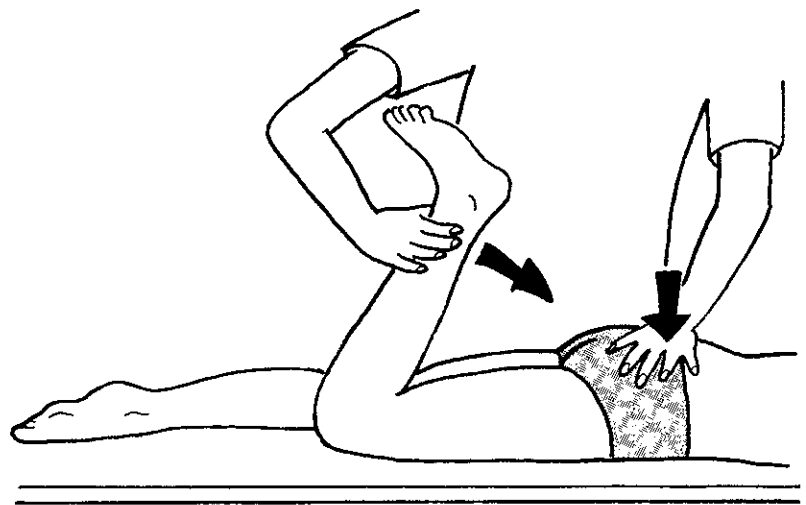
ア. 右大殿筋



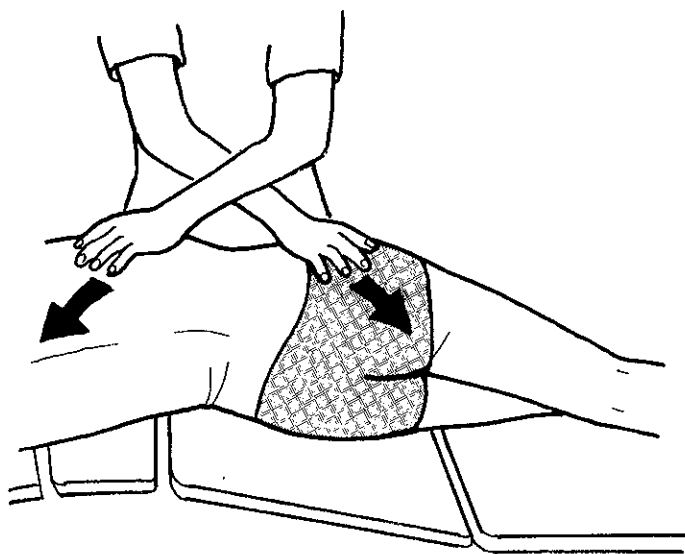
イ. 右恥骨筋



ウ. 右縫工筋



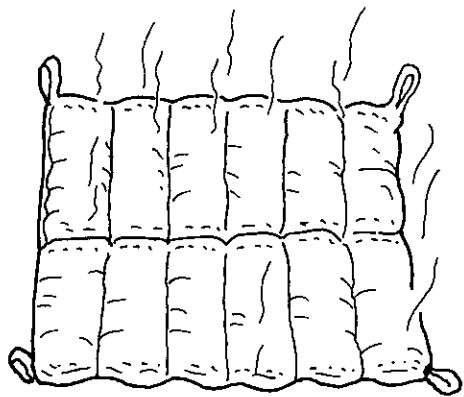
エ. 右大腿直筋



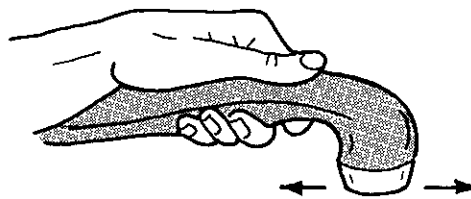
オ. 右腰方形筋

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

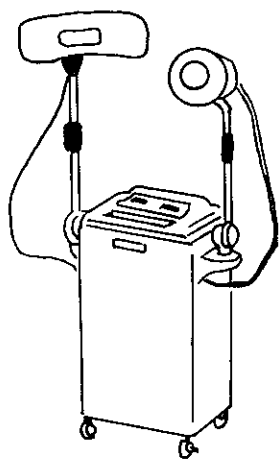
問題18 72歳の女性。右変形性膝関節症で人工膝関節置換術後6週経過。
 膝関節屈曲拘縮と運動痛に対する物理療法で適切でないのはどれか。



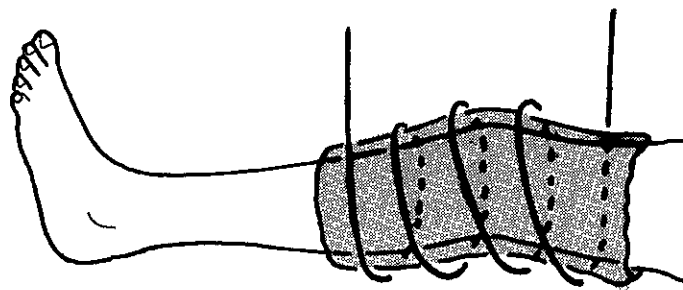
ア.



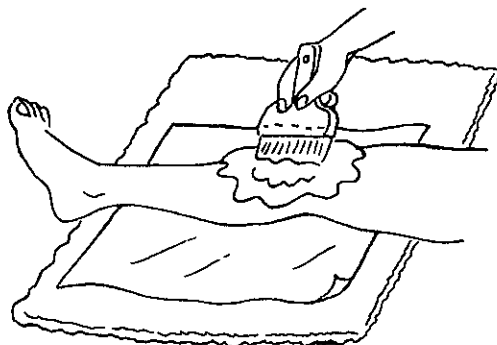
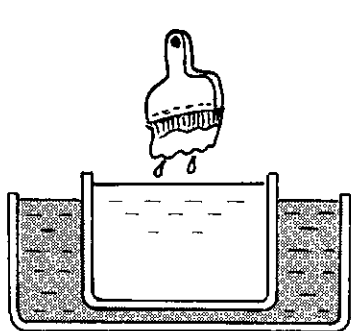
イ.



ウ.



エ.

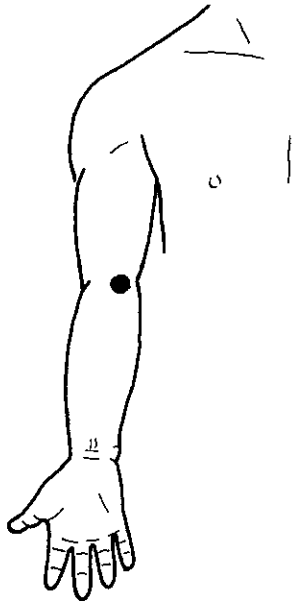


オ.

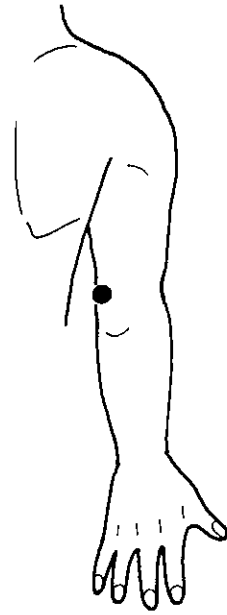
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題19 外傷で頻度の高い圧迫による神経麻痺が生じた場合、低周波治療の電気刺激部位で正しいのはどれか。

ただし、●は電気刺激部位を表す。



ア. モンテジア骨折



イ. 上腕骨骨幹部骨折



ウ. 肩関節前方脱臼



エ. 股関節後方脱臼



オ. 腓骨頭骨折

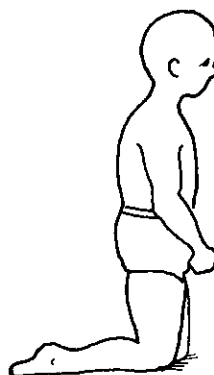
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題20 4歳の男児。痙直型両麻痺。平行棒内両手支持での立位保持は可能だが、はさみ状歩容である。

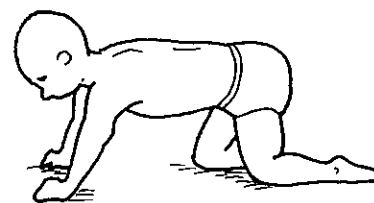
運動療法で適切でないのはどれか。



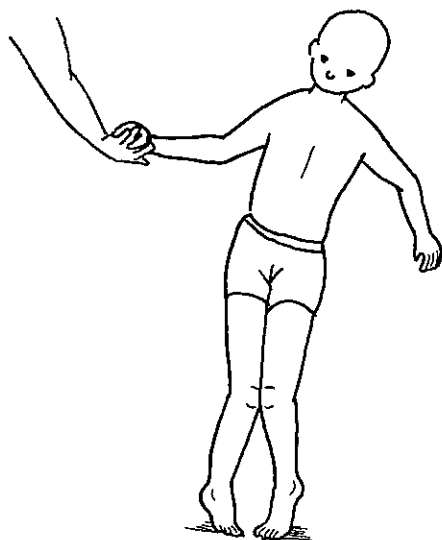
1. ブリッジ



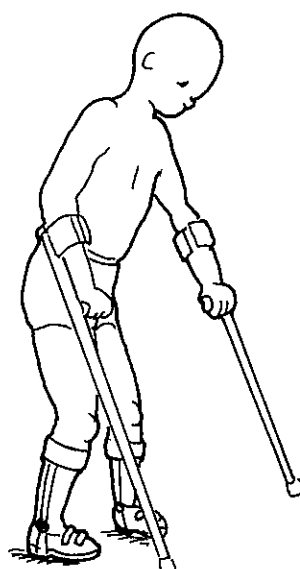
2. 膝立ち



3. 四つ這い移動



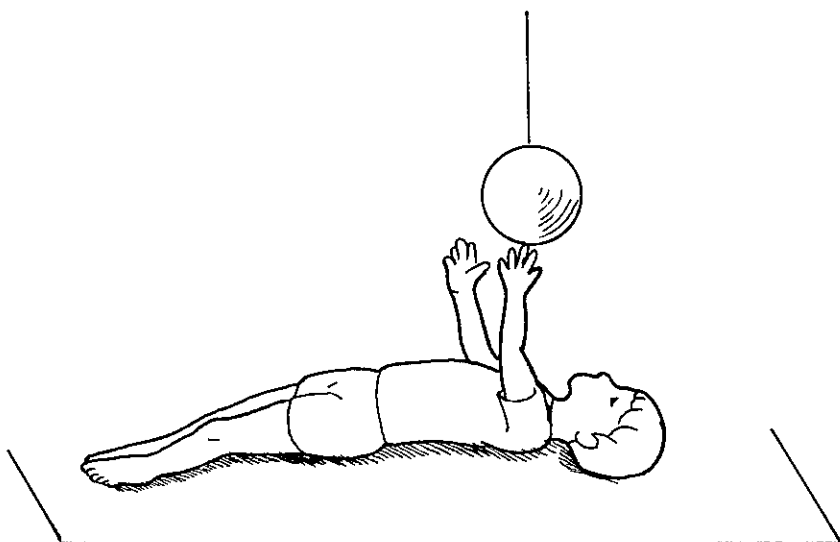
4. 立位



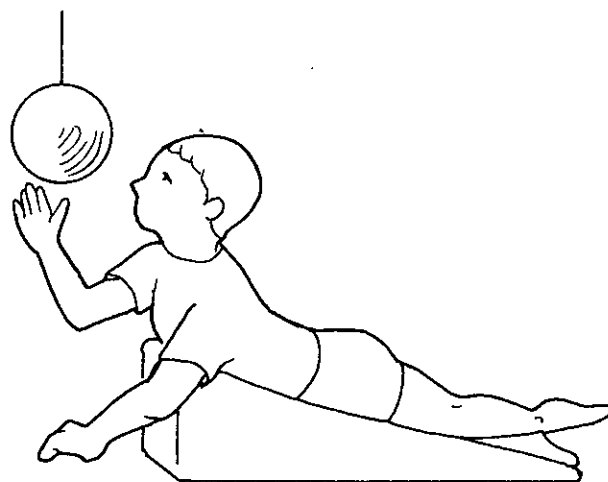
5. 歩行

問題21 4歳の男児。痙直型四肢麻痺。緊張性頸反射が陽性である。

ボールを使った遊びの指導で適切でないのはどれか。2つ選べ。



1



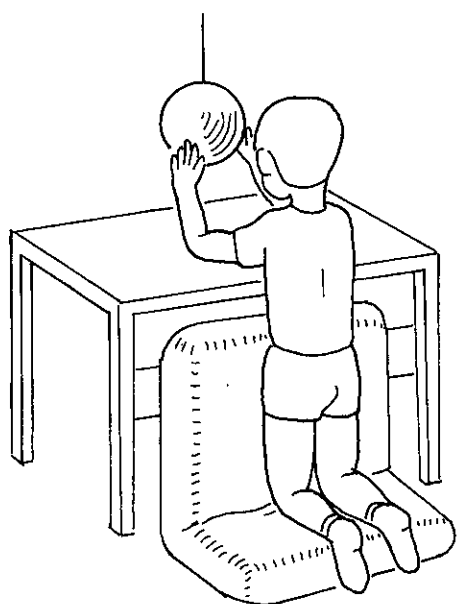
2



3

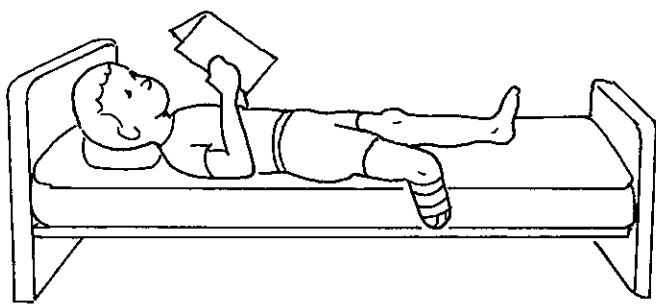


4

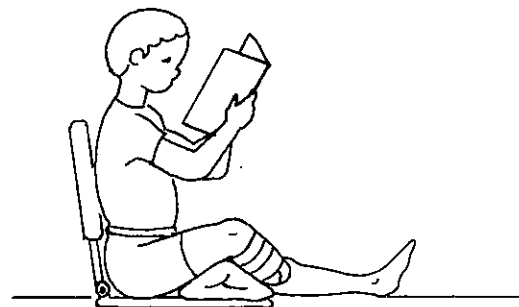


5

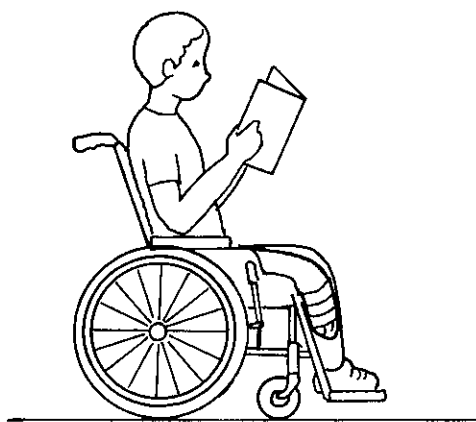
問題22 5歳の男児。右下腿切断。これから義足装着訓練を始める。
適切な姿勢はどれか。



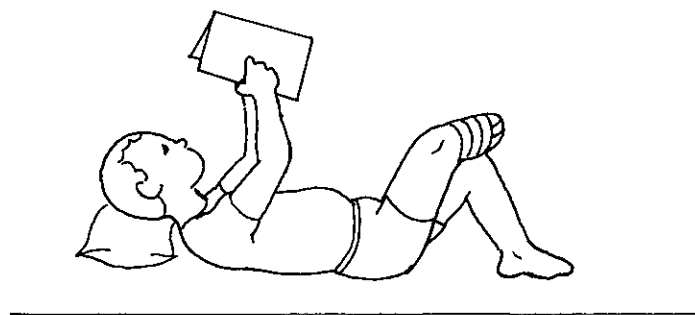
1



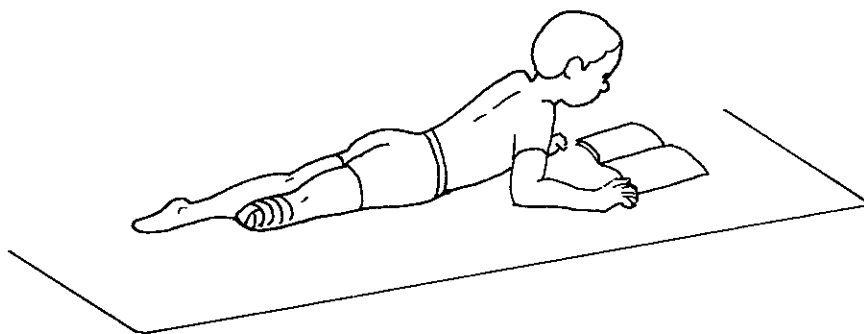
2



3

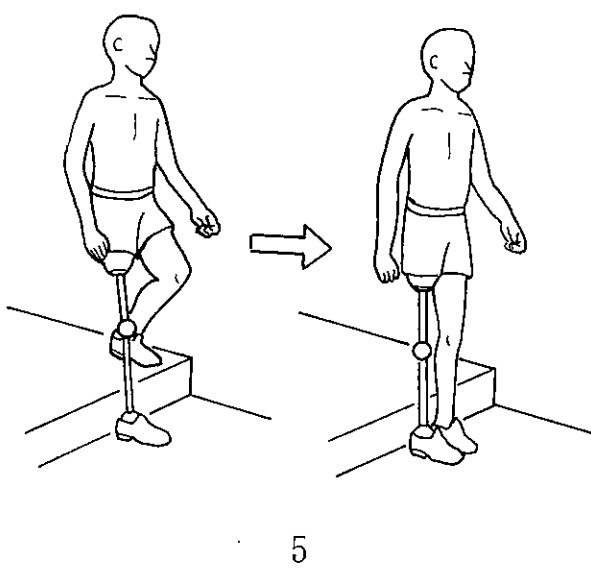
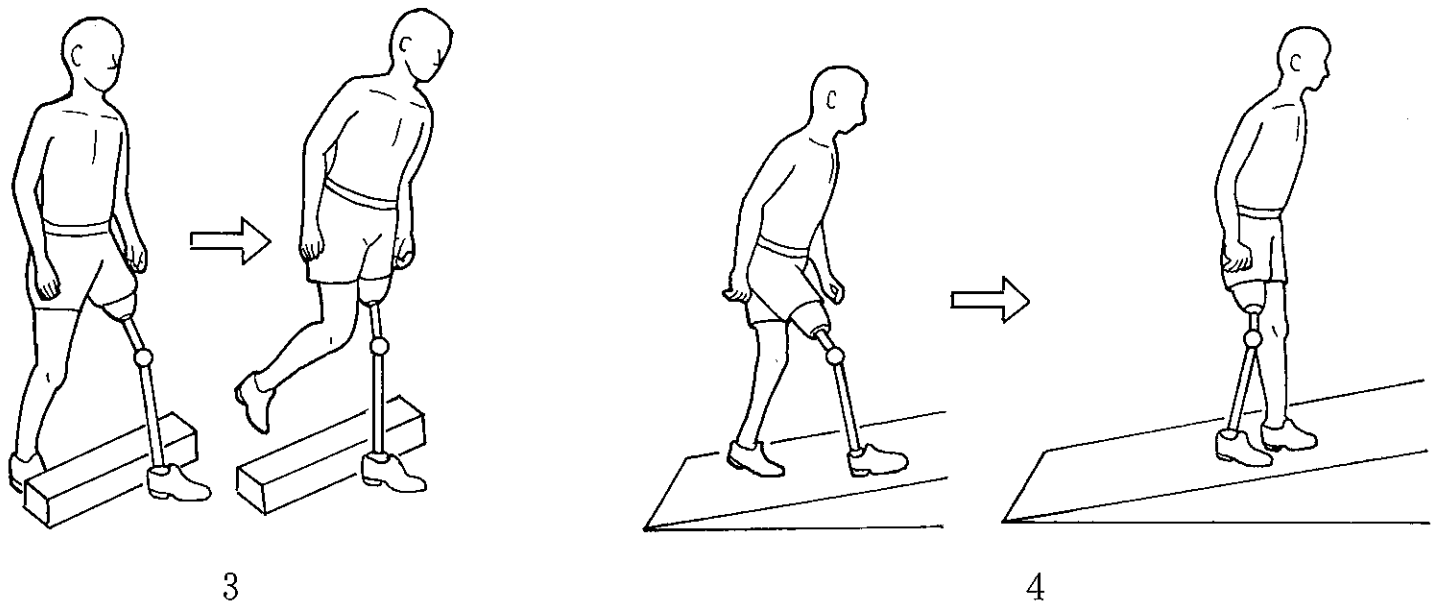
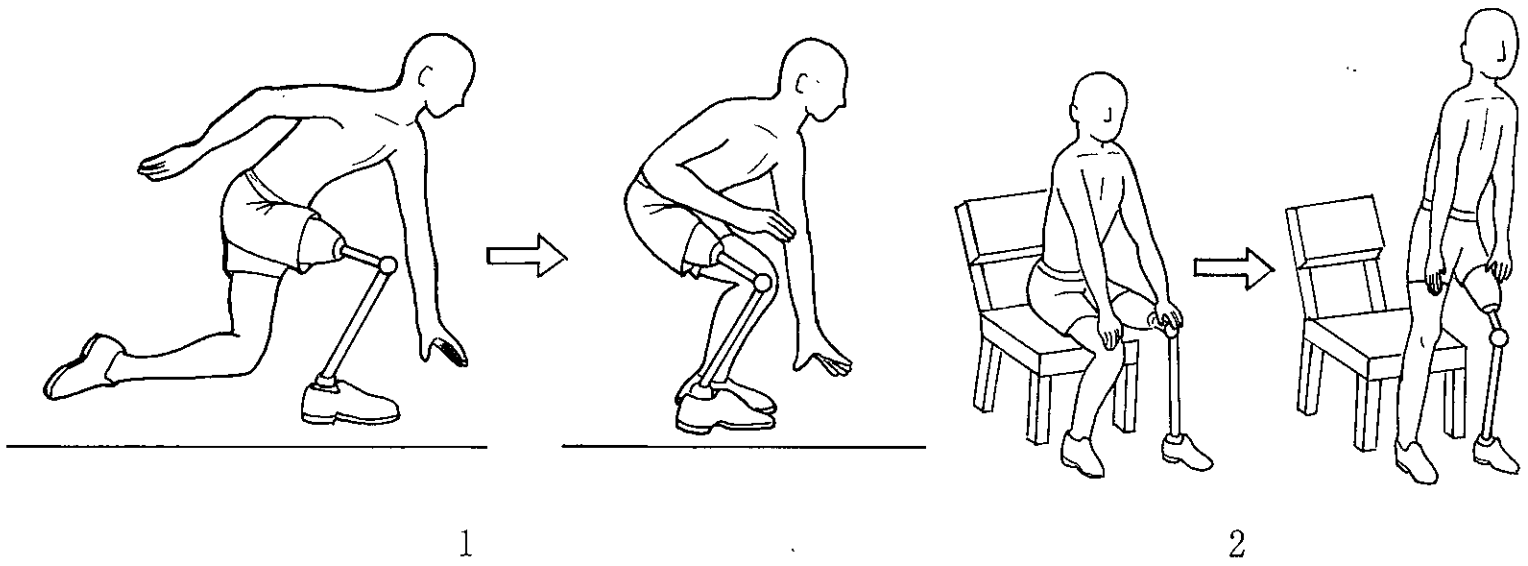


4

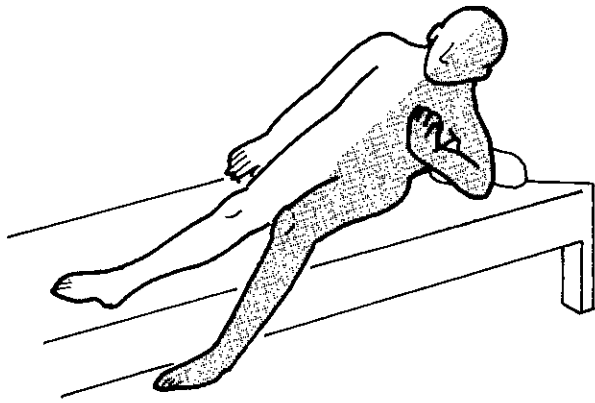


5

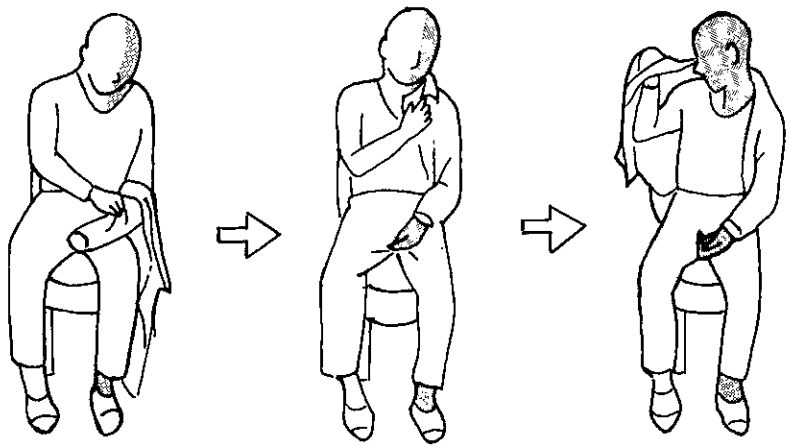
問題23 ADL 指導上正しいのはどれか。2つ選べ。



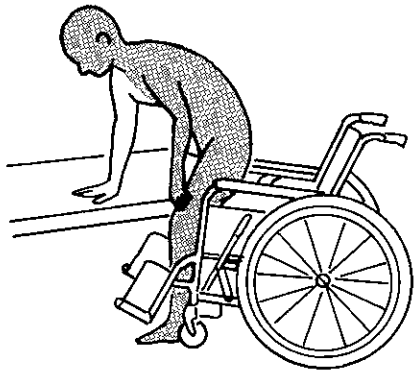
問題24 左片麻痺患者の ADL 指導で正しいのはどれか。



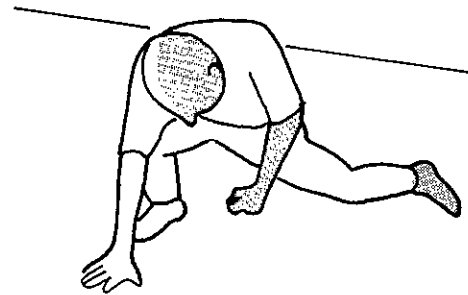
1. ベッドから起き上がる。



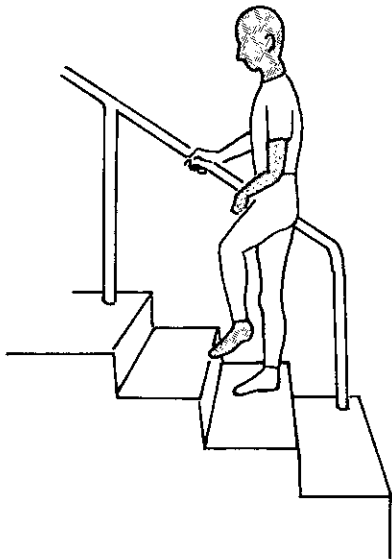
2. 上衣を着る。



3. ベッドから車椅子へ移乗する。



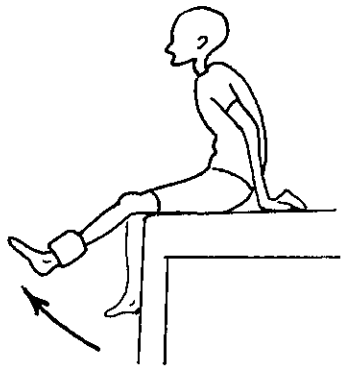
4. 床から立ち上がる。



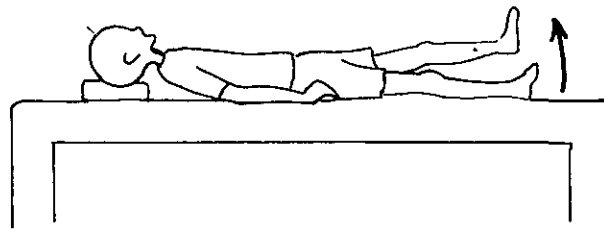
5. 階段を上がる。

問題25 80歳の女性。転倒によって左大腿骨頸部内側骨折を受傷。

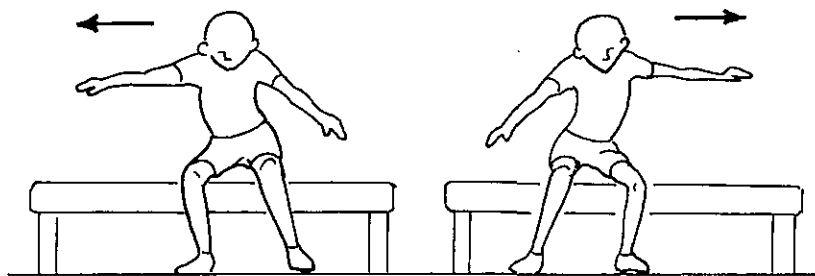
人工骨頭置換術(セメントレス)施行2週後の理学療法で適切でないのはどれか。



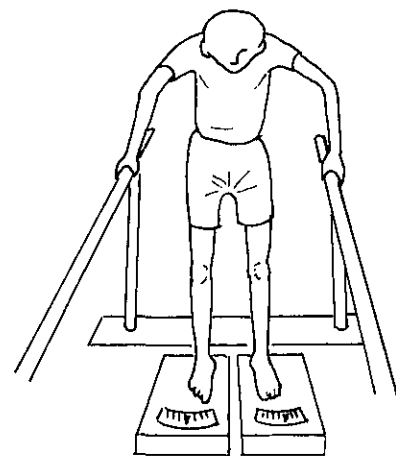
1



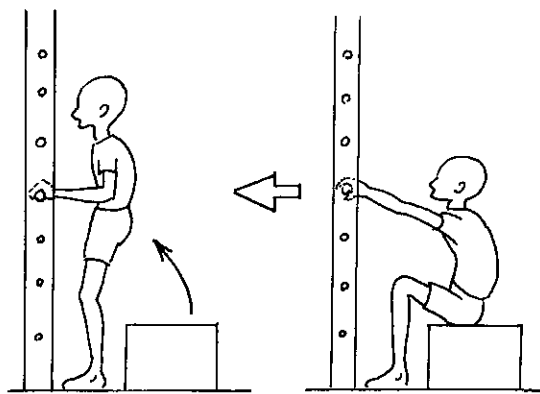
2



3

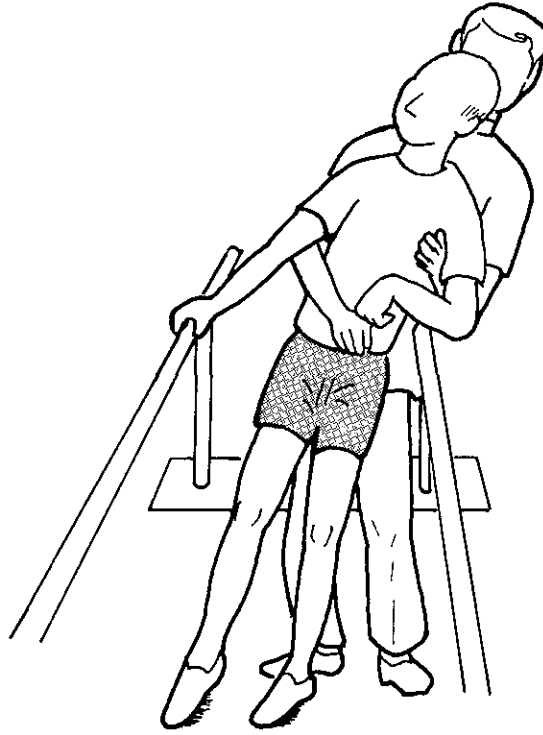


4



5

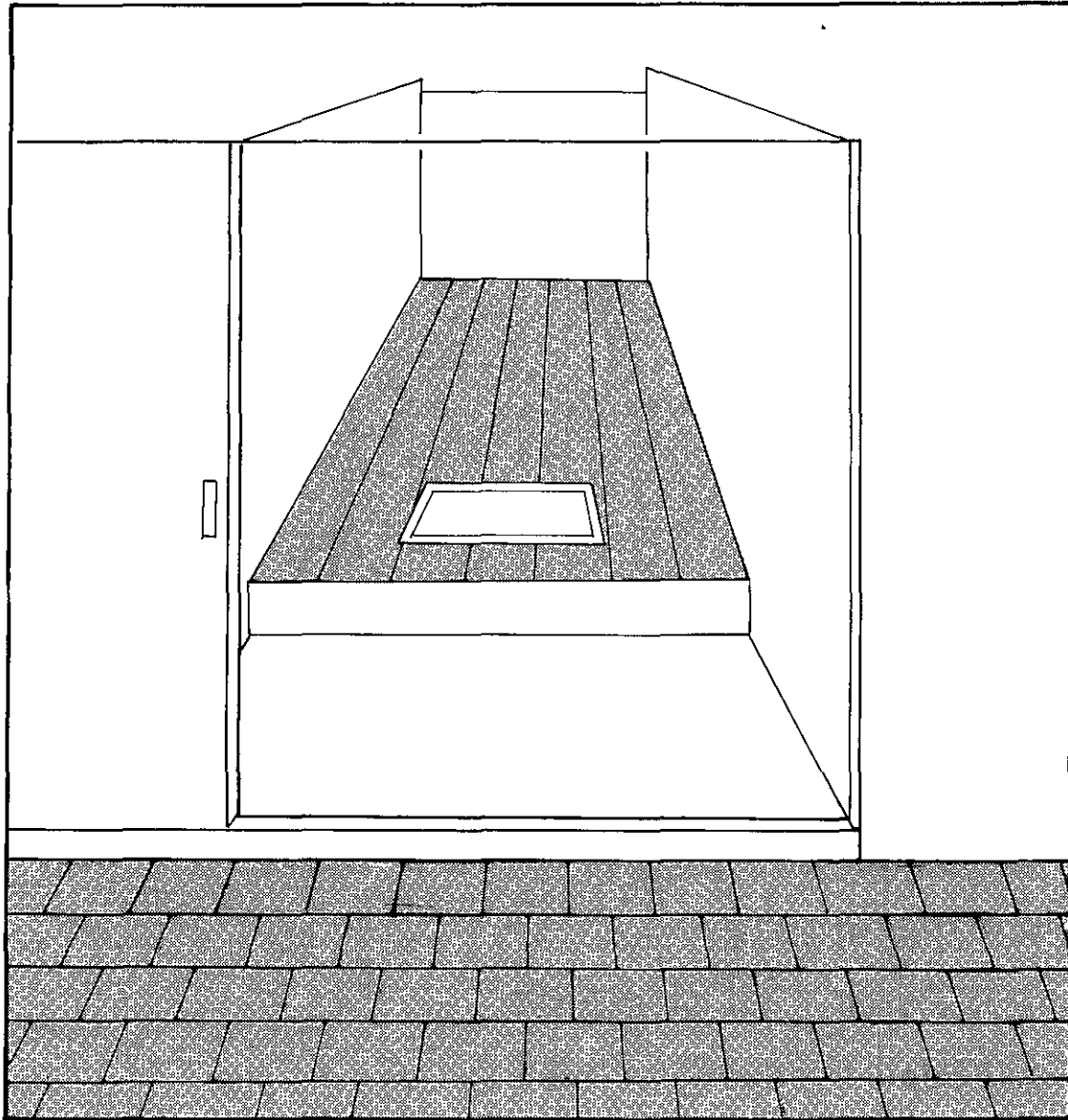
問題26 75歳の男性。右視床出血による左片麻痺。発症後3週でブルンストローム法ステージ上肢Ⅱ・下肢Ⅲ。平行棒内立位で図のような症状がみられた。
運動療法で適切でないのはどれか。



1. 立位で治療者が左側から繰り返し押し返す。
2. 座位でのバランス訓練を行う。
3. 鏡を見せて立位保持訓練を行う。
4. 健側下肢への体重負荷訓練を行う。
5. 高い座面の椅子から立ち上がり訓練を行う。

問題27 75歳の男性。脳卒中による左片麻痺。ブルンストローム法ステージは上下肢ともⅢ。屋内はプラスチック短下肢装具装着で歩行、屋外は車椅子で移動することで退院計画を立てることになった。

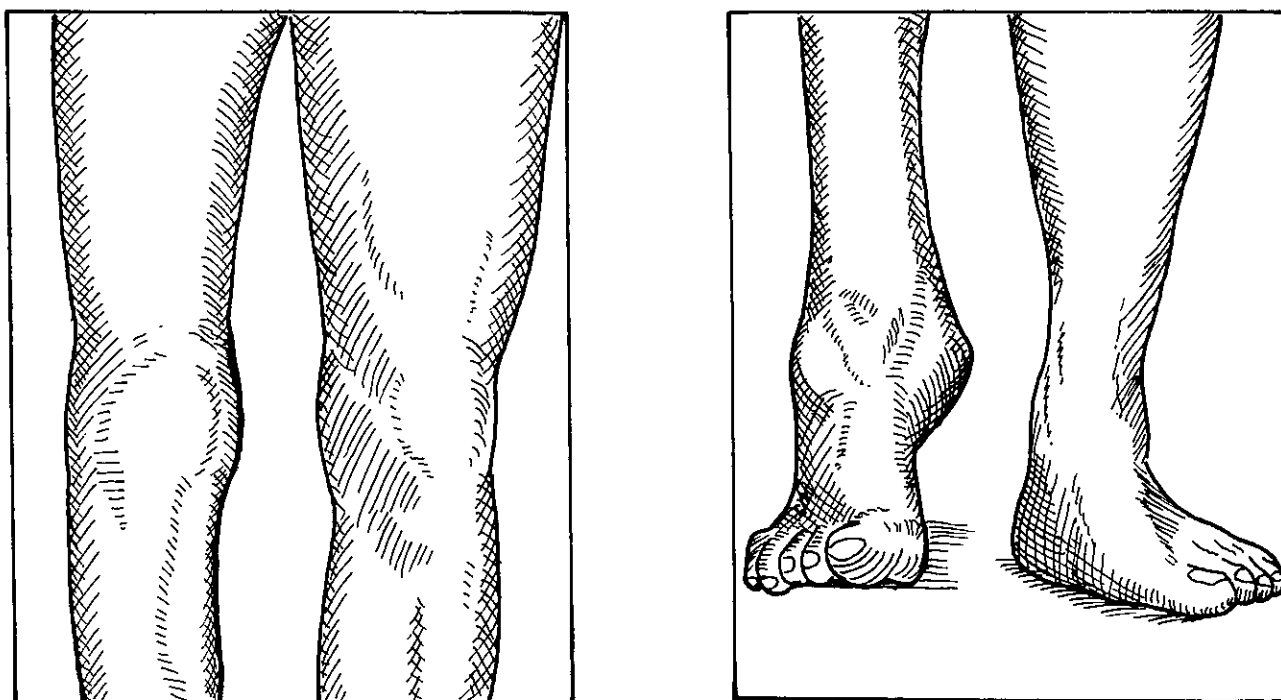
住宅改造の指導で適切でないのはどれか。



1. 廊下に横手すりを設置する。
2. あがりかまちにL字型手すりを設置する。
3. 玄関口とあがりかまちの間に座れる椅子を置く。
4. 玄関の出入り口の段差にスロープを設置する。
5. 廊下に毛足の長いじゅうたんを敷き詰める。

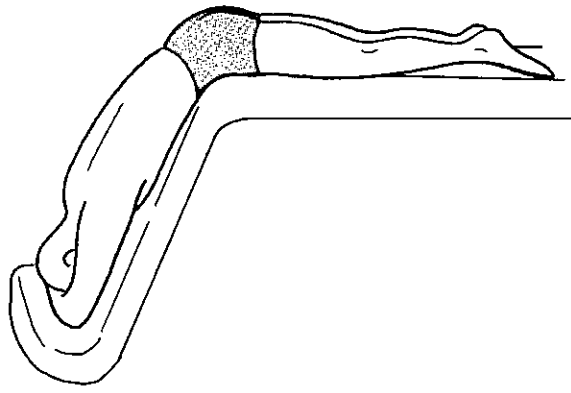
問題28 60歳の男性。身長170 cm、体重90 kg。3歳時にポリオに罹患し右下肢単麻痺となった。右長下肢装具を装着し独歩可能であったが、3か月前から歩行が困難となり、左下肢の筋力低下も自覚したためリハビリテーション科を受診した。下肢の状態は図のようであった。

理学療法で誤っているのはどれか。

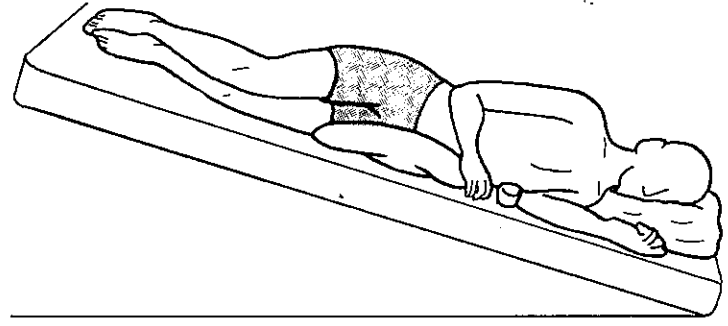


1. 体重の減量を勧める。
2. 杖の使用を検討する。
3. 骨盤帯付き長下肢装具に変更する。
4. 左下肢筋の過用を防ぐ生活指導を勧める。
5. 足底板を用いて脚長差の再調整を行う。

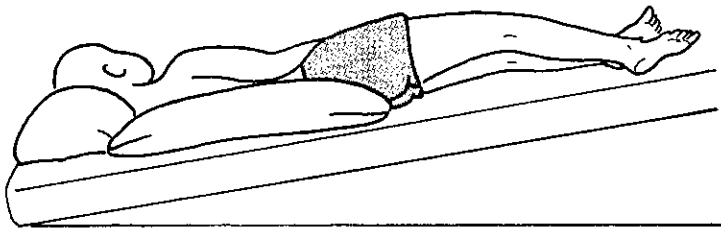
問題29 右肺区域と体位ドレナージとの組合せで誤っているのはどれか。



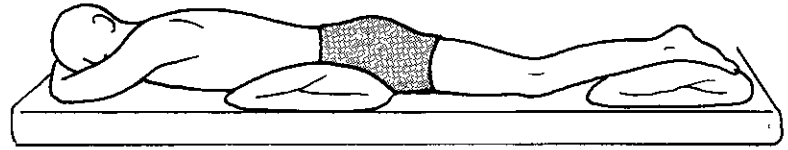
1. 下葉 S¹⁰



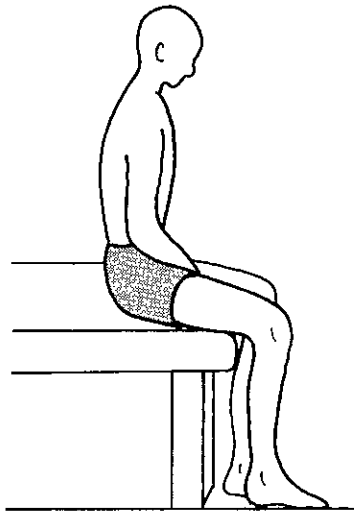
2. 下葉 S⁹



3. 中葉 S⁴

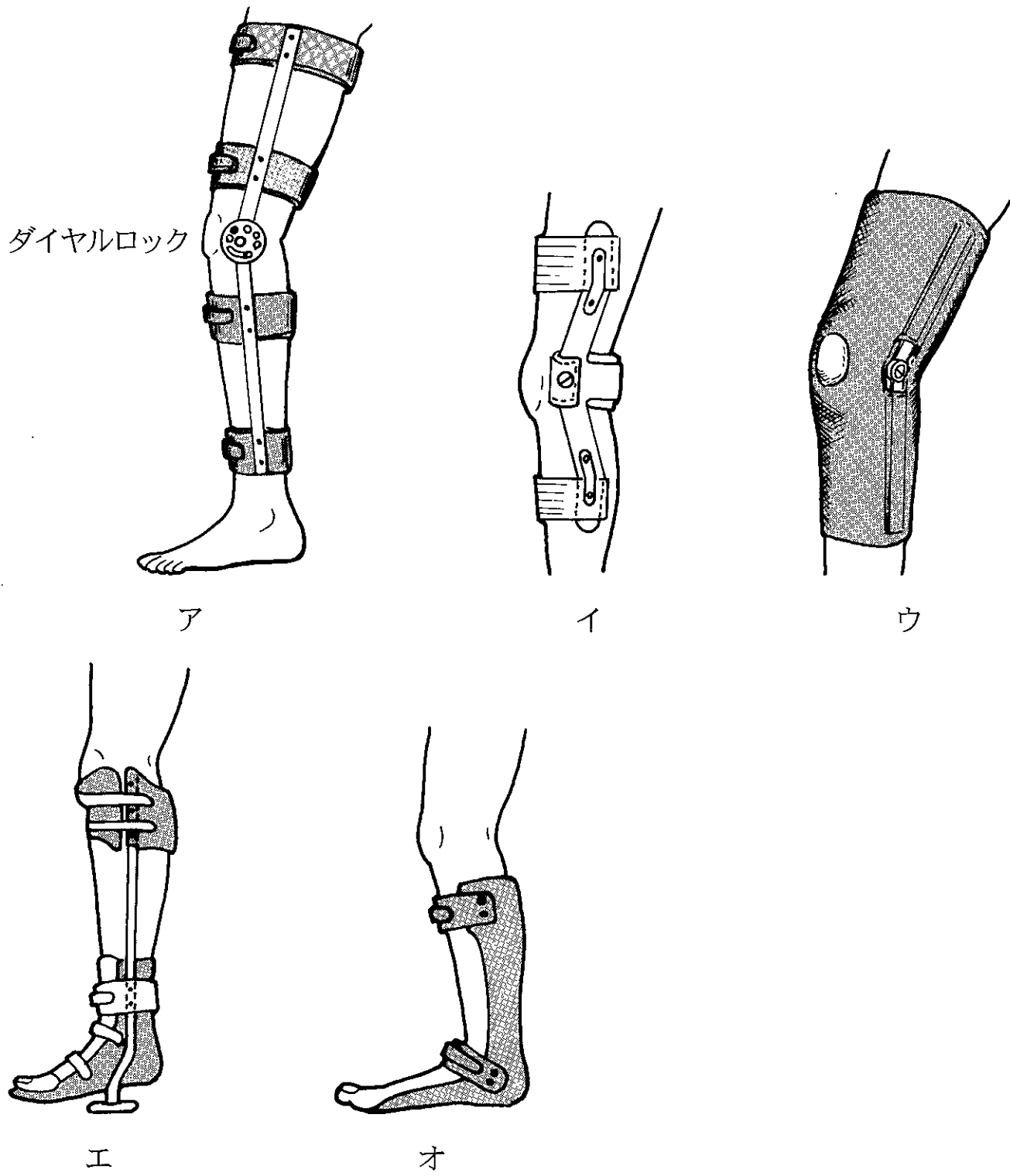


4. 上葉 S³



5. 上葉 S¹

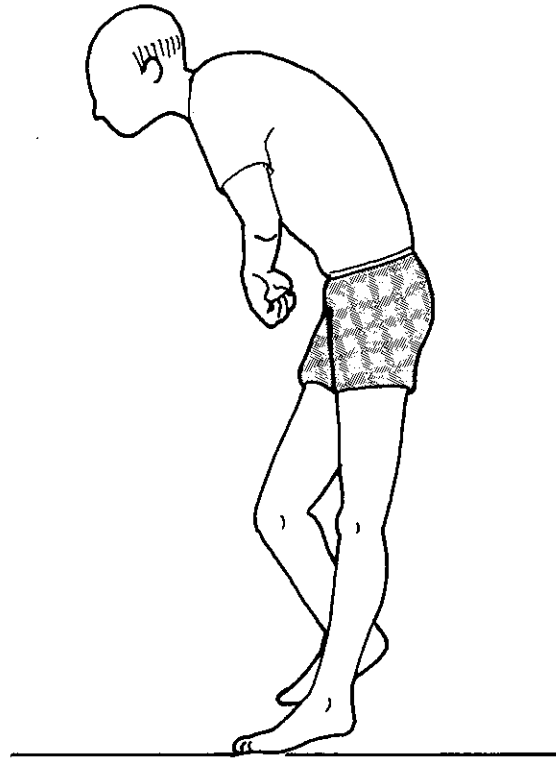
問題30 反張膝に用いる装具で適切でないのはどれか。



1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題31 63歳の男性。脳梗塞による左片麻痺。発症後2か月。歩行時の立脚相に図のような現象を認めた。

患側に対する理学療法で適切でないのはどれか。



1. 下腿三頭筋のタッピング
2. 前脛骨筋の治療的電気刺激
3. 短下肢装具を用いた歩行
4. 膝屈曲位での体重支持
5. 下腿後面のアイシング

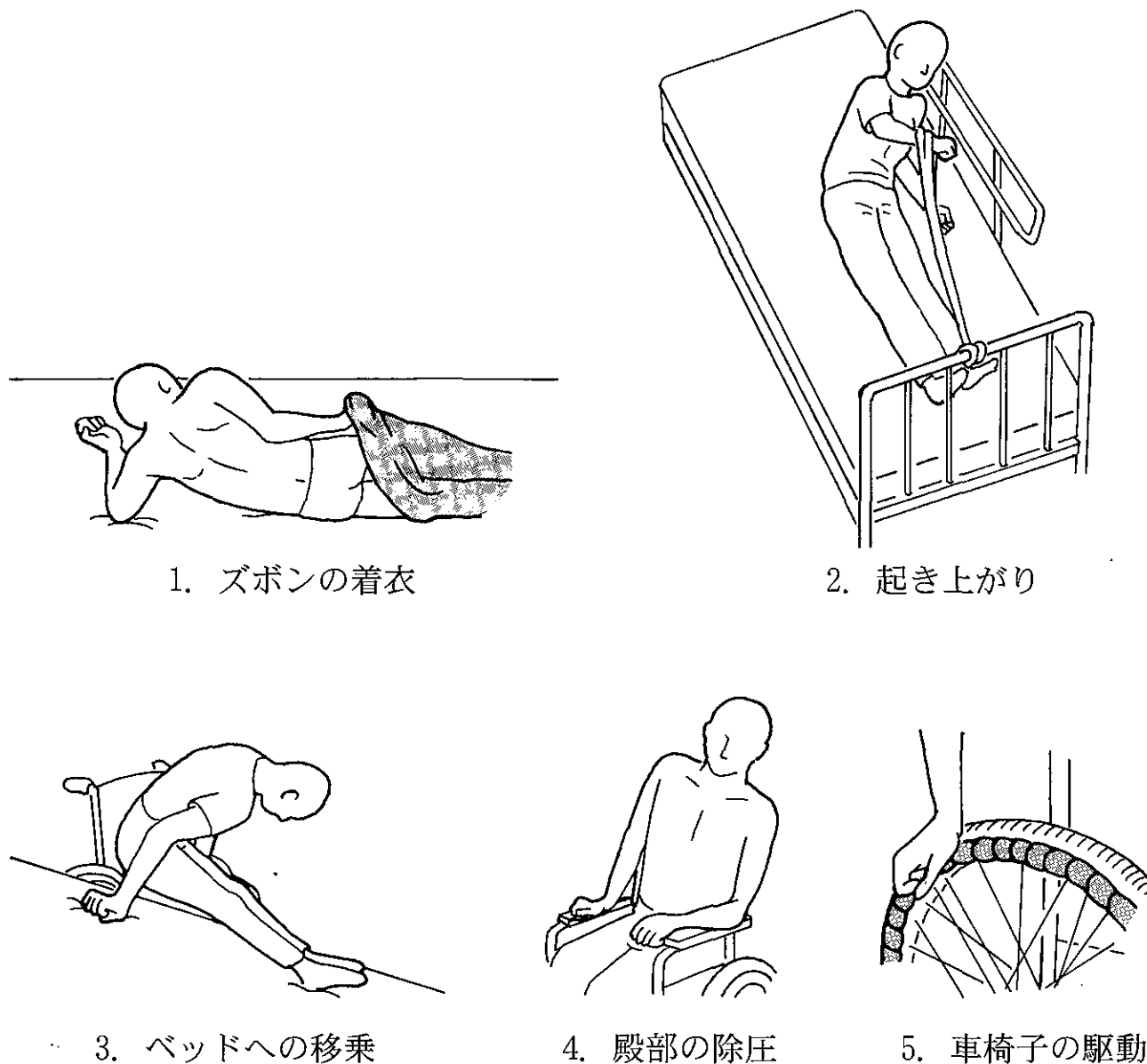
次の文により問題 32・33 に答えよ。

20 歳の男性。大学でラグビーの練習中に頸髄損傷(第 6 頸髄節まで機能残存)となった。

問題32 受傷後 1 か月の呼吸理学療法で適切でないのはどれか。

1. 排痰の促進
2. 胸郭可動性の確保
3. 横隔膜の筋力強化
4. 肋間筋の筋力強化
5. インセンティブ・スパイロメトリーを用いた呼吸訓練

問題33 受傷後 3 か月の理学療法指導で誤っているのはどれか。



問題34 58歳の男性。パーキンソン病でヤールの重症度分類はステージⅢ。運動に対する意欲は強い。

運動療法で適切でないのはどれか。

1. 棒体操
2. メトロノームで足踏み練習
3. 歩行率を高めた歩行練習
4. マット上での寝返り練習
5. 目印に沿った歩行練習

問題35 8歳の男児。デュシェンヌ型筋ジストロフィー。動揺性歩行を呈し、手すり使用で階段昇降可能。床からの立ち上がりでは登はん性起立がみられる。

この時期の理学療法で正しいのはどれか。

- ア. 車椅子駆動練習
- イ. 大腿四頭筋の筋力維持訓練
- ウ. 傾斜台での下腿三頭筋の持続伸張
- エ. シューホーンブレース装着での歩行
- オ. ナイト型装具装着での立位バランス訓練

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題36 65歳の男性。胸骨正中切開による縦隔腫瘍摘出術後3日。左上下葉区の痰の貯留が多い。

この時期の理学療法で適切でないのはどれか。2つ選べ。

1. ゆっくりとした深い腹式呼吸
2. 右側臥位での体位排痰
3. 胸郭可動域運動
4. 四肢の自動介助運動
5. 体幹の回旋運動

問題37 70歳の男性。身長170 cm、体重60 kg。陳旧性心筋梗塞による慢性心不全、NYHA (New York Heart Association, 1964)の class II。医師の指示によって在宅での心臓リハビリテーションを行っている。

自宅での生活指導で正しいのはどれか。

1. できるだけ水分摂取を行う。
2. 体重増加は栄養改善の良い指標である。
3. ボルグ指数で15程度の運動を勧める。
4. 安静時に息切れがある日は運動を休む。
5. 安静時間を長くしてエネルギー消費量を減らす。

問題38 45歳の女性。体重55 kg。急性心筋梗塞の回復期に入り、運動負荷試験を実施したところ、酸素摂取量770 ml/分までは安全性が確認された。

この患者に許可できるレクリエーションの最大レベルはどれか。

1. ラジオ体操
2. バドミントン(シングルス)
3. テニス(シングルス)
4. ジョギング
5. 登山

問題39 45歳の男性。髄膜脳炎。手足の麻痺はなく、1年後には身の回りの動作が自立した。新しいことが覚えられない記銘力障害が残った。病前の職業は会社員(営業)。WAIS-RはVIQ 110、PIQ 90。

訓練アプローチで適切なのはどれか。

- ア. 絵カードの呼称
- イ. メモの利用
- ウ. 一日のスケジュール表作成
- エ. 新聞の音読
- オ. 電話対応の練習

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題40 56歳の男性。右利き。脳卒中による右片麻痺。発語は流暢だが内容は意味不明だった。また、「今日の天気は晴れです」の繰り返しを指示すると反復することができなかった。

考えられる失語症はどれか。

1. 伝導失語
2. ブローカ失語
3. ウェルニッケ失語
4. 超皮質性運動失語
5. 超皮質性感覚失語

問題41 ダニエルスらの徒手筋力テストにおいて段階2 (Poor)の筋と測定肢位との組合せで正しいのはどれか。

1. ヒラメ筋———座位
2. 腸腰筋———座位
3. 中殿筋———側臥位
4. 棘下筋———側臥位
5. 肩甲下筋———腹臥位

問題42 ダニエルスらの徒手筋力テストにおける代償動作とそれを起こす筋との組合せで誤っているのはどれか。

1. 肩関節屈曲———上腕二頭筋
2. 肘関節屈曲———方形回内筋
3. 前腕回内———橈側手根屈筋
4. 股関節屈曲———縫工筋
5. 膝関節屈曲———腓腹筋

問題43 拘縮のある関節の可動域訓練で適切でないのはどれか。

1. 実施者の体重を利用する。
2. 運動の反動を利用する。
3. 随意収縮を利用する。
4. 姿勢反射を利用する。
5. 温熱を利用する。

問題44 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で運動方向と移動軸との組合せで誤っているのはどれか。

1. 足関節背屈———第5中足骨
2. 頸部回旋———鼻梁と後頭結節を結ぶ線
3. 頸部屈曲———外耳孔と頭頂を結ぶ線
4. 前腕回外———手指を伸展して手背面
5. 股関節屈曲———大腿骨

問題45 身体測定で誤っているのはどれか。

1. 上肢長は肩峰から橈骨茎状突起までの距離を測る。
2. 上腕周囲径は上腕の中央で測る。
3. 下肢長は上前腸骨棘から足関節内果までの距離を測る。
4. 大腿周囲径は膝蓋骨上端から 10 cm 近位で測る。
5. 下腿周囲径は下腿の最も太いところで測る。

問題46 転子果長の左右差の原因はどれか。

1. 側弯で骨盤が傾斜している。
2. 大転子が高位となっている。
3. 股関節に屈曲拘縮がある。
4. 膝関節に屈曲拘縮がある。
5. 足関節に尖足拘縮がある。

問題47 筋力低下を示す徴候で誤っているのはどれか。

1. フローマン徴候
2. ラセーグ徴候
3. トレンデレンブルグ徴候
4. ビーバー徴候
5. ガワーズ徴候

問題48 ブルンストローム法ステージⅥの要件はどれか。

1. 座位で足を床上で滑らせながら膝関節屈曲 90° 以上が可能
2. 座位で床に踵をつけたまま足関節のみ背屈が可能
3. 座位で下腿の内外旋が可能
4. 立位で股関節を伸展したまま膝関節屈曲が可能
5. 立位で膝関節を伸展したまま足関節背屈が可能

問題49 運動失調の評価で誤っているのはどれか。

1. バレー徴候
2. ロンベルグ徴候
3. 踵膝試験
4. 膝打ち試験
5. 鼻指鼻試験

問題50 ADL 評価で正しいのはどれか。

1. Barthel index で自立の得点は7点である。
2. Barthel index は食事の支度の項目を含む。
3. FIM はできる ADL を評価する。
4. FIM では時間をかけても一人でできれば完全自立である。
5. Wee-FIM は小児の ADL を評価する。

問題51 FIM の評価項目で誤っているのはどれか。

1. 社会的交流
2. 整容
3. 排尿管理
4. トイレ動作
5. 見当識

問題52 手段的 ADL に含まれない評価項目はどれか。

1. 公共交通機関の利用
2. 食事の支度
3. 掃除
4. 電話の対応
5. 階段の昇降

問題53 物理療法と禁忌との組合せで誤っているのはどれか。

1. 低周波—————皮膚疾患部位
2. ホットパック—————阻血組織
3. 極超短波—————心臓ペースメーカー
4. 超音波—————体内金属
5. 間欠牽引—————炎症性脊椎疾患

問題54 パラフィンの被膜層を作って暖める方法(グローブ法)で正しいのはどれか。

1. 浴槽内の温度は 56～57℃ である。
2. 被膜は 2～4 層を重ねる。
3. 浸ける深さは順次深くする。
4. 裂けた被膜の上に被膜層を重ねる。
5. 湿熱効果が期待できる。

問題55 極超短波療法で誤っているのはどれか。

1. 医療用には 2,450 MHz の周波数を用いる。
2. 筋層の温熱に適する。
3. 照射強度は導子と皮膚との距離に反比例する。
4. 照射前に磁気カードや時計を外す。
5. 妊娠中の理学療法士が操作するのは避ける。

問題56 水中運動療法で正しいのはどれか。

1. 剣状突起部の水深では体重の約 50 % が免荷される。
2. 静水圧は深さ 1 m につき約 1 気圧増加する。
3. 運動速度が速い方が抵抗力は小さくなる。
4. 水の浮力を利用した自動介助運動が可能である。
5. 水温は 40℃ が適温である。

問題57 超音波療法で誤っているのはどれか。

ア. 深部組織への照射は周波数 3 MHz の導子を用いる。

イ. 凹凸部位への照射は水中法を用いる。

ウ. $0.5\sim 1.0\text{ W/cm}^2$ の強度は非温熱作用に用いる。

エ. 照射面積は有効治療面積(ERA)の2倍以内とする。

オ. ビーム不均等率(BNR)6以上の導子は1cm/秒で移動させる。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題58. パーキンソン病に比較して、血管性パーキンソニズムで認めにくいのはどれか。

1. 突進現象

2. 痴呆症状

3. 感情失禁

4. 高血圧

5. 虚血性心疾患

問題59 脳卒中片麻痺の肩手症候群で誤っているのはどれか。

1. 手指の腫脹から始まる。

2. ブルンストローム法ステージ上肢Ⅳ以上で起こりやすい。

3. 肩甲骨は内転・下方回旋をとりやすい。

4. 肩の他動的な外転・外旋が制限されやすい。

5. 鎮痛にはTENSが用いられる。

問題60 脳卒中片麻痺の病的共同運動で正しいのはどれか。

1. 肩甲骨挙上に伴う肘関節伸展

2. 肘関節屈曲に伴う手関節背屈

3. 股関節外転に伴う膝関節伸展

4. 股関節内旋に伴う膝関節屈曲

5. 膝関節屈曲に伴う足関節背屈

問題61 脳卒中の平行棒内移動練習で誤っている組合せはどれか。

1. 椅子からの立ち上がり——平行棒を下方に押して立ち上がる。
2. 患側肢での体重支持——患側膝関節軽度屈曲位で体重を負荷する。
3. 左右肢の体重移動——最初は横方向、次に前後方向で行う。
4. 健側肢の振り出し——患側股関節の伸展を意識させる。
5. 患側肢の振り出し——健側で伸び上がり振り出す。

問題62 慢性期片麻痺患者の歩行の特徴で誤っているのはどれか。

1. 麻痺側の立脚相は非麻痺側より短い。
2. 麻痺側の遊脚相の膝屈曲角度は非麻痺側より小さい。
3. 麻痺側の遊脚相で麻痺側の股関節は外転する。
4. 非麻痺側の立脚相で体幹は麻痺側に側屈する。
5. 歩隔は正常歩行より広い。

問題63 片麻痺患者のADL指導で誤っているのはどれか。

1. 急な登り坂は健側を山側にして横歩きする。
2. 敷居をまたぐときは健側から行う。
3. 車椅子の座面は低めに設定する。
4. 浴槽へは患側から入る。
5. 脱衣は健側から行う。

問題64 脊髄損傷の機能残存レベルと可能な運動との組合せで正しいのはどれか。

- ア. 第1腰髄節——股関節外転
イ. 第2腰髄節——股関節伸展
ウ. 第3腰髄節——膝関節伸展
エ. 第4腰髄節——足関節背屈
オ. 第5腰髄節——足関節底屈

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題65 脊髄損傷で正しいのはどれか。

1. 脊髄円錐部損傷では排尿障害の予後は良好である。
2. 馬尾損傷では痙性対麻痺を生じる。
3. 後脊髄症候群では深部感覚障害に比べ温痛覚障害が主体となる。
4. 前脊髄症候群では深部感覚障害に比べ運動機能の予後が悪い。
5. ブラウン・セカール症候群では損傷部以下の同側の温痛覚障害がある。

問題66 頸髄損傷の機能残存レベルと車椅子との組合せで誤っているのはどれか。

1. 第4頸髄節———電動車椅子
2. 第5頸髄節———取り外し式アームレスト
3. 第6頸髄節———ゴム巻きハンドリム
4. 第7頸髄節———延長レバーブレーキ
5. 第8頸髄節———標準型車椅子

問題67 自律神経過反射で誤っているのはどれか。

1. 血圧低下
2. 顔面紅潮
3. 徐脈
4. 頭痛
5. 鼻閉

問題68 正常動作とその獲得に必要な反射の出現・消失との組合せで正しいのはどれか。

1. 寝返り———非対称性緊張性頸反射の消失
2. 定頸———ランドウ反射の消失
3. 座位保持———後方へのパラシュート反応の出現
4. つかまり立ち———立位での傾斜反応の出現
5. つたい歩き———陽性支持反応の出現

問題69 対称性緊張性頸反射で正しいのはどれか。

1. 頸部の伸展で股関節と膝関節が屈曲する。
2. 統合する中枢は脳にある。
3. 立直り反応の一つである。
4. 生後4か月で出現する。
5. 生後10か月で消失する。

問題70 脳性麻痺の病型と症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 弛緩型——スカーフ徴候
2. アテトーゼ型——ガラント反射
3. 痙直型——折りたたみナイフ現象
4. 失調型——安静時振戦
5. 強剛型——鉛管現象

問題71 デュシェンヌ型筋ジストロフィーで短縮が起こりにくい筋はどれか。

1. 下腿三頭筋
2. 後脛骨筋
3. 大殿筋
4. ハムストリングス
5. 大腿筋膜張筋

問題72 二分脊椎(脊髄髄膜瘤)で誤っているのはどれか。

1. 水頭症の合併は知的障害と関連する。
2. 脊髄係留症候群は乳児期に出現する。
3. 神経因性膀胱が問題となる。
4. 足部は褥瘡の好発部位である。
5. 学童期には肥満が問題となる。

問題73 正常動作の発達の順序で誤っているのはどれか。

1. 腹臥位で頭を上げられる。→寝返りができる。
2. 寝返りができる。→座位保持ができる。
3. 四つ這いができる。→つかまり立ちができる。
4. その場ジャンプができる。→手すりにつかまって階段を登れる。
5. 片足立ちができる。→スキップができる。

問題74 腱板不全断裂の理学療法で誤っているのはどれか。

1. 急性期は三角巾による局所の安静
2. 肩甲胸郭関節の可動域訓練
3. 滑車を用いた肩関節可動域維持
4. 肩甲上腕リズムの再学習訓練
5. 重錘を用いた上肢挙上運動

問題75 膝関節疾患と診断との組合せで誤っているのはどれか。

1. 前十字靭帯損傷——ラックマンテスト
2. 半月板損傷——マックマレーテスト
3. 内側側副靭帯損傷——内反ストレステスト
4. 膝蓋・大腿関節障害——Q 角
5. 変形性膝関節症——膝蓋跳動

問題76 膝関節疾患で生じる症状の説明で誤っているのはどれか。

1. キャッチング——運動時、膝に引っ掛かり感を感じる。
2. 膝くずれ——荷重時、膝がガクッと折れそうになる。
3. ロッキング——膝が一定の角度で屈伸不能になる。
4. 弾発現象——膝の中で物が動く感じがする。
5. 轆音——屈伸時、音がして動きの滑らかさが失われる。

問題77 変形性関節症と運動療法との組合せで適切でないのはどれか。

1. 股関節症———ゴムを用いた外転筋訓練
2. 股関節症———重錘バンドを用いた下肢伸展挙上訓練
3. 股関節症———徒手的な腸腰筋の伸張
4. 膝関節症———重錘バンドを用いた大腿四頭筋訓練
5. 膝関節症———徒手的なハムストリングスの伸張

問題78 関節リウマチの足部変形で生じにくいのはどれか。

1. 外反母指
2. 槌指変形
3. 扁平足
4. 凹足変形
5. 踵骨の外反変形

問題79 多発性硬化症の理学療法で適切でないのはどれか。

- ア. 痙縮に対する寒冷療法
- イ. 10 RM の筋力強化訓練
- ウ. 温水プールでの歩行訓練
- エ. トレッドミルによる平地歩行訓練
- オ. 運動失調に対する PNF

1. ア、イ
2. ア、オ
3. イ、ウ
4. ウ、エ
5. エ、オ

問題80 パーキンソン病の自律神経徴候で誤っているのはどれか。

1. 発汗異常
2. 排尿障害
3. 下痢
4. 脂漏性皮膚
5. 起立性低血圧

問題81 パーキンソン病患者のすくみ足に対する家族への指導で適切なのはどれか。

- ア. 向かい合って両手を引いて歩く。
- イ. 後方から骨盤を押して歩く。
- ウ. リズムに合わせて1歩を踏み出す。
- エ. 床に踏み越える目印のテープを貼る。
- オ. 両腕を大きく振って階段を昇る。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題82 筋萎縮性側索硬化症の主な機能障害でみられないのはどれか。

- ア. 知能障害
- イ. 構音障害
- ウ. 嚥下障害
- エ. 呼吸障害
- オ. 感覚障害

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題83 ギラン・バレー症候群の回復期の運動療法で適切でないのはどれか。

- 1. 漸増抵抗運動
- 2. マット上での四つ這い移動
- 3. バルーンを用いた座位での体幹筋強化
- 4. 歩行練習
- 5. 体操による筋のストレッチ

問題84 ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。

- ア. 初期に軽い感覚障害を生じる。
- イ. 四肢の痙性麻痺を生じる。
- ウ. 軸索型は脱髄型より予後は良好である。
- エ. 肢節近位部から遠位部に向けて回復する。
- オ. 重症では呼吸筋麻痺をきたす。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題85 疾患と装具との組合せで正しいのはどれか。

1. 橈骨神経麻痺——パンケーキ型装具
2. 腰椎圧迫骨折——ジュエット型装具
3. 頸椎脱臼骨折——ウイリアムス型装具
4. 多発性硬化症——バネ付長下肢装具
5. 大腿神経麻痺——PTB型装具

問題86 靴べら式プラスチック製短下肢装具のチェックアウトで皮膚に発赤を生じやすい部位はどれか。

ア. 立方骨

イ. 第5中足骨底

ウ. 舟状骨

エ. 距骨

オ. 楔状骨

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題87 靴の補正と適応との組合せで正しいのはどれか。

1. 逆トーマスヒール——内反尖足
2. SACHヒール——扁平足
3. 内側ソールウェッジ——内反膝
4. 外側の長い月形しん——外反扁平足
5. メタルザルバー——踵部の免荷

問題88 誤っている組合せはどれか。

1. 片麻痺の痙性尖足——底屈制動付短下肢装具
2. ペルテス病——股関節外転装具
3. 特発性側弯症——ハローベスト
4. 先天性股関節脱臼——リーメンビューゲル装具
5. 膝前十字靭帯損傷——デローテーション装具

問題89 PTB ソケットで誤っているのはどれか。

- ア. 前壁の高さは膝蓋骨下縁とする。
- イ. 後壁の内外膝屈筋チャンネルの高さをそろえる。
- ウ. 初期内転角を付ける。
- エ. 体重支持は主に膝蓋腱部である。
- オ. 懸垂のためカフベルトが必要である。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題90 サイム切断で誤っているのはどれか。

- 1. 屋内での断端荷重が可能である。
- 2. 正常に近い歩行能力を持つ。
- 3. ソケットの懸垂が容易である。
- 4. 有窓式ソケットが多い。
- 5. 外観が良好である。

問題91 義肢装具の素材とその特徴との組合せで誤っているのはどれか。

- ア. カーボン繊維———引っ張り強度に優れるが高価である。
- イ. シリコン———弾力性に優れるが皮膚への刺激が強い。
- ウ. ポリプロピレン———軽量で加熱によって硬化する。
- エ. チタン———堅固で腐食しにくい。
- オ. アルミニウム———軽量であるが腐食しやすい。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題92 慢性呼吸不全患者の生活指導で適切でないのはどれか。

- 1. 腹式呼吸を励行する。
- 2. 時間当たり呼吸数を増やす。
- 3. 1回換気量を増やす。
- 4. 動作を分割する。
- 5. 酸素吸入下で体操する。

問題93 腹式呼吸法で誤っているのはどれか。

1. 口すぼめ呼吸を併用する。
2. 呼吸補助筋の活動を抑制する。
3. 胸部と腹部にそれぞれ手を置く。
4. 呼気時に腹部隆起を確認する。
5. 呼気は吸気の2倍以上の時間をかけて行う。

問題94 糖質が燃焼したときの化学式は $C_6H_{12}O_6 + 6 O_2 \rightarrow 6 H_2O + 6 CO_2$ で表される。

呼吸商の値はどれか。

1. 0.36
2. 0.48
3. 0.72
4. 1.00
5. 1.25

問題95 急性期心筋梗塞症患者のリハビリテーションのステージ進行基準に含まれないのはどれか。

1. 自覚症状の有無
2. 心拍数の増加
3. 収縮期血圧の上昇
4. 重症不整脈の有無
5. 心電図の異常Q波

問題96 心筋梗塞のリハビリテーションの効果で誤っているのはどれか。

1. 運動耐容能の向上
2. 生活の質の向上
3. 余命の延長
4. HDL コレステロール値の上昇
5. 安静時心拍数の上昇

問題97 インスリン依存型糖尿病の運動療法で誤っているのはどれか。

ア. 運動強度はボルグ指数で 13 以下に設定する。

イ. 自転車エルゴメーターは 1 日 20～30 分程度とする。

ウ. 尿ケトン体陽性時には運動量を増やす。

エ. 食後 2 時間以内の運動は避ける。

オ. インスリン注射部位の運動は避ける。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. ウ、エ 5. エ、オ

問題98 外傷性脳損傷で誤っているのはどれか。

1. バランス障害が出やすい。

2. 半側空間無視を伴いやすい。

3. 記憶障害を伴いやすい。

4. 行動異常が問題となる。

5. している ADL とできる ADL が解離しやすい。

問題99 外傷性脳損傷の ADL の予後と関連しないのはどれか。

1. 昏睡の期間

2. 除皮質肢位の有無

3. 外傷性健忘の期間

4. 共同性注視障害の有無

5. 半盲の有無

問題100 理学療法士及び作業療法士法で正しいのはどれか。

1. 理学療法士養成施設の修業年限を 1 年以上と規定している。

2. 理学療法士の理学療法業務独占を規定している。

3. 理学療法士の退職後の守秘義務を規定している。

4. 理学療法士が 1 日で治療できる患者数を規定している。

5. 理学療法士免許は都道府県知事から交付される。